



この製品は生産中止、販売終了製品です

スペックシート

Cisco UCS C240 M4 高密度ラック サーバ (ラージ フォーム ファ クタ ディスク ドライブ モデル)

シスコシステムズ合同会社 発行履歴

〒107-6227 東京都港区赤坂

9-7-1 ミッドタウン・タワー REV F.18 2019年5月14日

<http://www.cisco.com/jp>

目次

概要	4
詳細図	5
シャーシ正面図	5
シャーシ背面図	6
サーバ本体の標準機能と特長	8
サーバの構成	12
ステップ 1 サーバの構成型番を選択する	13
ステップ 2 ライザカードを選択する (オプション)	14
ステップ 3 ロックセキュリティベゼルを選択する (オプション)	15
ステップ 4 CPU を選択する	16
ステップ 5 メモリを選択する	18
ステップ 6 RAID コントローラを選択する	24
RAID コントローラ オプション (内蔵 HDD/SSD のサポート)	24
Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ	24
SAS HBA (内蔵 HDD/SSD/JBOD をサポート)	24
SAS HBA (外部 JBOD サポート)	24
RAID ボリュームと RAID グループ	24
ステップ 7 ハードディスクドライブ (HDD) またはソリッドステートドライブ (SSD) を選択する	31
ステップ 8 SED ハードディスクドライブ (HDD) またはソリッドステートドライブ (SSD) を選択する	34
ステップ 9 PCIe オプションカードを選択する	36
ステップ 10 ネットワークカードのアクセサリを選択する (オプション)	41
ステップ 11 GPU カードを構成する (オプション)	46
ステップ 12 電源ユニットを選択する	49
ステップ 13 AC 電源コードを選択する	50
ステップ 14 工具不要レールキットとオプションのリバーシブルなケーブル管理アームを選択する	53
ステップ 15 NIC モードを選択する (オプション)	54
ステップ 16 トラステッドプラットフォームモジュールを選択する (オプション)	55
ステップ 17 Cisco Flexible Flash SD カードモジュールを選択する (オプション)	57
ステップ 18 オプションの USB 3.0 ドライブを選択する	58
ステップ 19 オペレーティングシステムと付加価値ソフトウェアを選択する	59
ステップ 20 オペレーティングシステムメディアキットを選択する	62
ステップ 21 サポートサービスを選択する	63
参考資料	65
シャーシ	65
ブロック図	67
CPU と DIMM	68
物理レイアウト	68
メモリ搭載ルール	69
DIMM 装着順序	70
推奨メモリ構成	71
その他の DIMM 装着	73
RAID の詳細	74
Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ (RAID サポート)	74
Cisco 12 Gbps SAS HBA (JBOD のみサポート)	74

目次

RAID オプション ROM (OPROM) 設定	75
ライザ カードの設定とオプション	76
シリアル ポートの詳細	78
アップグレード関連と保守関連部品	79
新しい CPU (CPU ヒート シンク付き) の追加または CPU の交換	80
マザーボード リチウム バッテリ	80
ヒート シンクを保護する CPU 用のサーマル グリース (シリンジ アプリケータ付き)	80
エアー バッフル交換キット	81
CPU ヒート シンク クリーニング キット	81
KVM ケーブル	82
マザーボードの USB ポートと SD ポート、および RAID カード バックアップの場所	83
販売終了 (EOS) コンポーネント	84
技術仕様	85
寸法と重量	85
電源仕様	86
環境仕様	90
準拠要件	91
販売終了 (EOS, EOL) のコンポーネント	92

本書は、英語版 Spec sheet を翻訳、ローカライズしたものです。最新の技術情報は、英語資料も参照ください。日本語資料更新等の時間差などの理由で、本書の情報が古い場合があります。

概要

Cisco UCS C240 M4 LFF サーバは、ビッグデータからコラボレーションまで、ストレージを多く使用するインフラストラクチャの多様な作業負荷に対応するため、パフォーマンスと拡張性を強化して設計された、最新の 2 ソケットの 2U ラック サーバです。

エンタープライズクラスの UCS C240 M4 LFF サーバは、Intel® Xeon E5-2600 v3/v4 シリーズ プロセッサ製品ファミリを搭載した 2U フォーム ファクタです。Cisco Unified Computing System ポートフォリオの性能をさらに拡張し、パフォーマンス、柔軟性、効率性を両立します。また、UCS C240 M4 LFF サーバは、24 の DIMM スロット、最大 6 つの PCI Express (PCIe) 3.0 スロット、最大 12 台の前面搭載 LFF ドライブを備えています。さらにオプションで 2 つの内蔵 SFF SATA ブートドライブを加えれば、合計 14 の内蔵ドライブを搭載できます。

C240 M4 サーバでは、1 GbE のマザーボード組み込み LOM ポート 2 基に加え、PCI スロットを使用することなく、モジュラ型 LAN-On-Motherboard (mLOM) スロットにシスコ仮想インターフェイス カード (VIC) またはサードパーティ製ネットワーク インターフェイス カード (NIC) を取り付けることができます。これらの特徴により、卓越した内蔵メモリとストレージの拡張性、および優れたパフォーマンスが提供されます。

Cisco UCS C240 M4 は、スタンドアロンのサーバまたは Cisco Unified Computing System の一部として使用できます。Cisco Unified Computing System は、コンピューティング、ネットワーキング、管理、仮想化、およびストレージ アクセスからなる 1 つの統合型アーキテクチャであり、ベア メタル環境と仮想化環境の両方でのエンドツーエンドのサーバの可視化、管理、制御が可能になります。

図 1 Cisco UCS C240 M4 高密度 LFF ラック サーバ

正面図



背面図

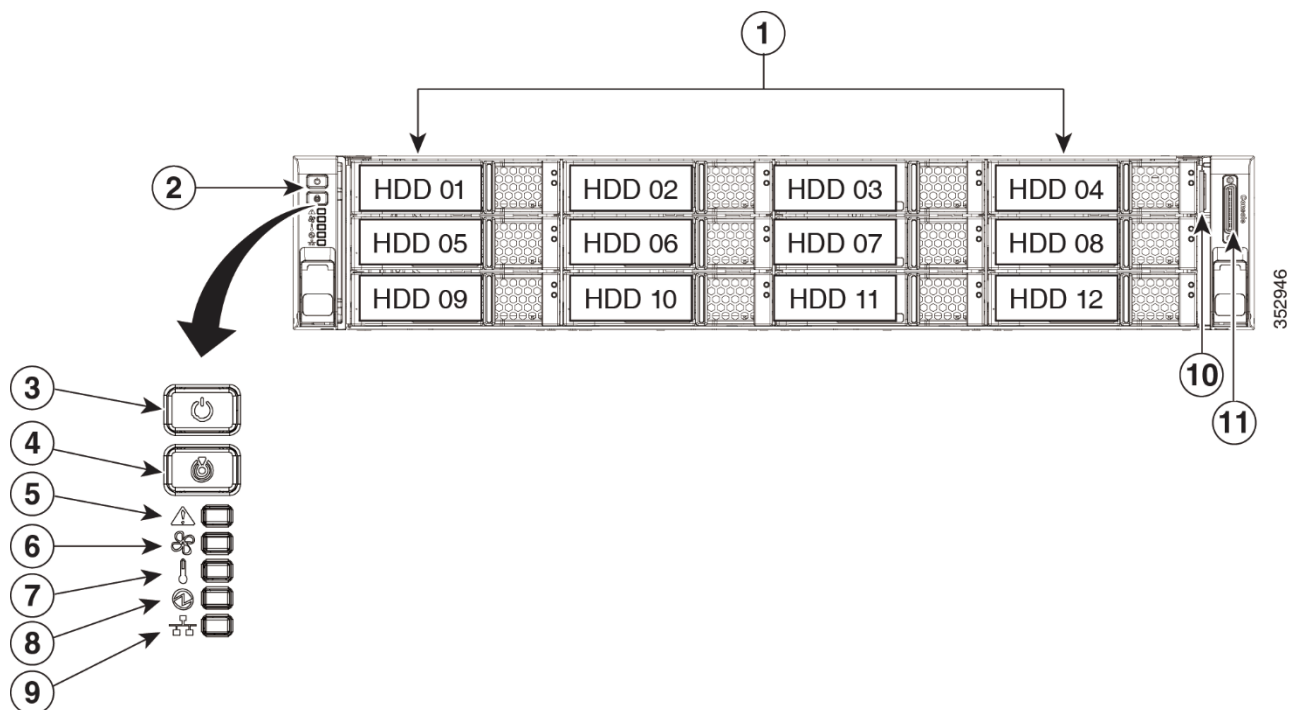


詳細図

シャーシ正面図

図 2 に、12 ドライブの Cisco UCS C240 M4 高密度 LFF ラック サーバを示します。

図 2 シャーシ正面図



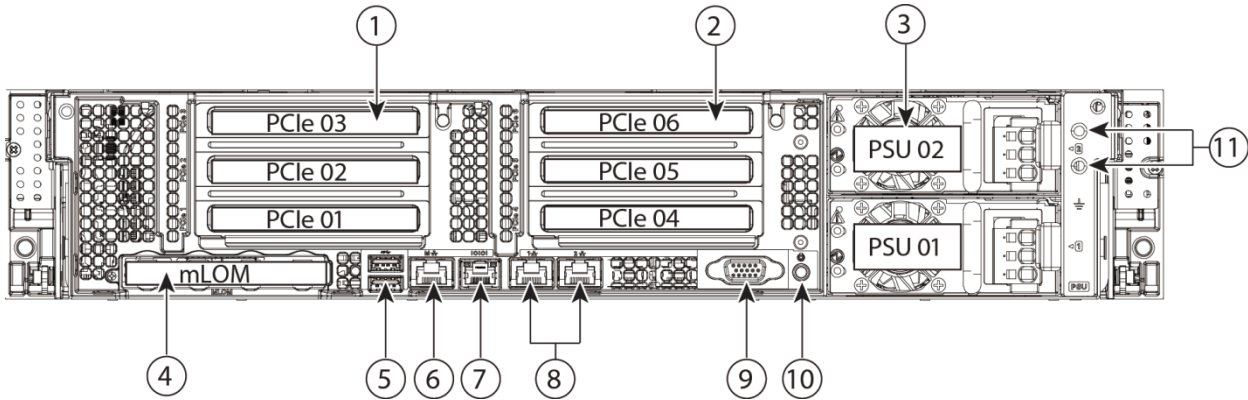
1	ドライブ ベイ 1 ~ 12 (最大 12 台の 3.5 インチ ドライブ)	7	温度ステータス LED
2	操作パネル ボタンおよび LED	8	電源ステータス LED
3	電源ボタン/LED	9	ネットワーク リンク アクティビティ LED
4	ユニット識別ボタン/LED	10	引き出しアセット タグ
5	システム ステータス LED	11	KVM コネクタ (USB 2.0 コネクタ 2 個、VGA コネクタ 1 個、 シリアル コネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルで使用)
6	ファン ステータス LED		

KVM ケーブル接続の詳細については、「[KVM ケーブル](#)」 (82 ページ) を参照してください。

シャーシ背面図

図3 に背面パネルの外部機能を示します。

図 3 シャーシ背面図



352947

1	PCIe ライザ 1 (スロット 1、2、3*) *スロット 3 は一部のバージョンのみ搭載。 詳細については、「 ライザ カード設定およびオプション 」(76 ページ) を参照してください。	7	シリアル コネクタ (RJ-45) ¹
2	PCIe ライザ 2 (スロット 4、5、6)。詳細については、「 ライザ カード設定およびオプション 」(76 ページ) を参照してください。	8	マザーボード組み込み Intel i350 GbE イーサネット コントローラ ポート 2 基 LAN1 は左コネクタ、LAN2 は右コネクタ
3	電源ユニット (図は DC 電源ユニット)	9	VGA ビデオ ポート (DB-15 コネクタ)
4	モジュラ LAN-On-Motherboard (mLOM) カード スロット	10	背面ユニット識別ボタン/LED
5	USB 3.0 ポート (2 個)	11	アース ラグの穴 (DC 電源ユニットの場合に利用)
6	1 Gb 管理専用ポート		—

注記のシンプルな

1. シリアル ポートのピン割り当ての詳細については、「[シリアル ポートの詳細](#)」(78 ページ) を参照してください。

mLOM VIC (VIC 1227T など) と PCIe VIC (VIC 1225T など) のポート番号を [図 4](#) に示します。これらのカードでは、ポート 1 コネクタが右側、ポート 2 コネクタが左側になります。

図 4 VIC ポート番号



VIC 1225T



サーバ本体の標準機能と特長

表 1 に、サーバ本体の機能と特長を示します。特定の機能に対するサーバの構成方法（プロセッサ数、ディスクドライブ、メモリ容量など）については、「[サーバの構成](#)」（12 ページ）を参照してください。

表 1 機能と特長

機能/特長	説明
シャーシ	2 ラック ユニット (2RU) シャーシ
CPU	Intel Xeon E5-2600 v3 または v4 シリーズ プロセッサ ファミリー CPU 1 個または 2 個
チップセット	Intel® C610 シリーズ チップセット
メモリ	Registered ECC DIMM (RDIMM) または Load Reduced DIMM (LRDIMM) 用の 24 スロット
マルチビットエラー保護	このサーバはマルチビット エラー保護をサポート
拡張スロット	<p>最大 6 つの PCIe スロット (2 つのライザ カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ライザ 1 (PCIe スロット 1、2、3)、CPU 1 により制御。 <ul style="list-style-type: none"> • オプション A: 2 スロットを利用可能。スロット 1 = フル ハイト、3/4 レングス、x8、NCSI¹。スロット 2 = フル ハイト、フル レングス x16、NCSI、GPU 対応 NCSI を使用できるのはいずれか 1 つのスロットのみ。 • オプション B: 3 スロットを利用可能。スロット 1 = フル ハイト、3/4 レングス、x8。スロット 2 = フル ハイト、フル レングス、x8、NCSI。スロット 3 = フル ハイト、フル レングス、x8。 • オプション C: 2 スロットを利用可能。スロット 1 = フル ハイト、3/4 レングス、x8、NCSI。スロット 2 = フル ハイト、フル レングス、x16、NCSI。さらに、ライザには SATA ブート ドライブ用のコネクタが 2 つあり、2 台のブート ドライブを接続可能。 ■ ライザ 2 (PCIe スロット 4、5、6)、CPU 2 により制御。3 本のスロットを利用可能。スロット 4 = フル ハイト、3/4 レングス、x8、NCSI。スロット 5 = フル ハイト、フル レングス、x16、NCSI、GPU 対応。スロット 6 = フル ハイト、フル レングス、x8。NCSI を使用できるのは一度に 1 スロットのみ。 ■ RAID コントローラ専用スロット (図 7 (65 ページ) を参照) <ul style="list-style-type: none"> • 内蔵スロットは 12 G SAS モジュラ RAID コントローラ カード用に予約済み (図 7 (65 ページ) を参照)。 <p>ライザ 1 およびライザ 2 の詳細については、「ライザ カード設定およびオプション」（76 ページ）を参照してください。</p>
ビデオ	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、Matrox G200e ビデオ/グラフィックス コントローラを使用してビデオを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ハードウェア アクセラレーションを備えた内蔵 2D グラフィックス コア ■ DDR2/3 メモリ インターフェイスは最大 512 MB のアドレス可能メモリをサポートします (デフォルトで 8 MB がビデオ メモリに割り当てられます) ■ 最大 1920 x 1200 16 bpp、60 Hz のディスプレイ解像度をサポートします ■ 高速な内蔵 24 ビット RAMDAC ■ 第 1 世代の速度で動作するシングル レーン PCI-Express ホスト インターフェイス

機能/特長	説明
内部ストレージデバイス	<p>ドライブは、ホットプラグ操作可能な、前面パネルのドライブベイに取り付けられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大型フォーム ファクタ (LFF) ドライブ²。サーバでは最大 12 台の 3.5 インチ SAS ハード ディスク ドライブ (HDD) 、またはソリッド ステート ドライブ (SSD) を搭載可能。12 台のドライブ バックプレーンと SAS エクスパンダを使用。さらに、OS ブート用にオプションで 2 台の内蔵 2.5 インチ SATA SSD を搭載可能。 ■ サーバのマザーボード上には、USB メモリを追加ストレージとして利用可能な内蔵 USB 3.0 ポートを 1 つ搭載。追加ストレージとしてオプションの USB サムドライブを使用できます。 ■ UCS ストレージ アクセラレータ (PCIe フラッシュ ストレージ デバイス) も使用できます。このプラグイン PCIe フラッシュ ストレージ カードにより、独立した高速ストレージが提供されます。
Cisco Flexible Flash ドライブ	<p>サーバでは、最大 2 台の内蔵 32 GB または内蔵 64 GB Cisco Flexible Flash ドライブ (SD カード) をサポートしています。</p> <p>2 つ目の SD カードはブランクで、1 つ目の SD カードのミラーリングに使用できます。RAID1 でハイパーバイザパーティションを保護する場合に使用します。</p>
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 背面パネル <ul style="list-style-type: none"> • DB15 VGA コネクタ X 1 • RJ45 シリアル ポート コネクタ X 1 • USB 3.0 ポート コネクタ X 2 • Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ファームウェアを使用した RJ-45 10/100/1000 イーサネット管理ポート X 1 • マザーボード組み込み Intel i350 GbE LOM ポート X 2 • 各種のインターフェイス カードを搭載できるフレキシブル モジュラ LAN-On-Motherboard (mLOM) スロット 1 個 ■ 各種の PCIe カード ポート (装着されているカードによって異なる) <ul style="list-style-type: none"> • 仮想インターフェイス カード (VIC) ポート • Converged Network Adapter (CNA) ポート • ネットワーク インターフェイス カード (NIC) ポート • ホスト バス アダプタ (HBA) ポート ■ 前面パネル <ul style="list-style-type: none"> • KVM コンソール コネクタ X 1 (USB 2.0 コネクタ X 2、VGA DB15 ビデオ コネクタ X 1、シリアル ポート (RS232) RJ45 コネクタ X 1 を装備)
電源サブシステム	<p>以下のホットスワップ可能な電源ユニットから最大 2 つ選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 650 W (AC) ■ 930 W (DC) ■ 1200 W (AC) ■ 1400 W (AC) <p>最低 1 つの電源ユニットが必須。さらに 1 つを追加して 1 + 1 の冗長性を確保可能。</p>

機能/特長	説明
-------	----

ストレージコントローラ ■ 内蔵 SAS 接続の Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ カード。

- 最大 24 台の内蔵ドライブ (ただし本サーバでは最大 12 台のドライブを構成可能)
- 専用の RAID コントローラ スロットに装着

単独での購入、または、次の表に示すオンボード フラッシュバック書き込みキャッシュ (FBWC) のアップグレード オプションと合わせて購入することも可能

RAID カードのバージョン	サポート対象の RAID レベル	オンボード TMM キャッシュ
UCSC-MRAID12G ¹	JBOD、0、1、10	なし
UCSC-MRAID12G-1GB ²	JBOD、0、1、10、5、6、50、60	1 GB
UCSC-MRAID12G-2GB ²	JBOD、0、1、10、5、6、50、60	2 GB
UCSC-MRAID12G-4GB ²	JBOD、0、1、10、5、6、50、60	4 GB

注記のシンプルな

1. 基本 RAID コントローラ カード (RAID 0、1、10 のみ)
2. 基本 RAID コントローラ カード用 FBWC オプション (FBWC オプションの追加により RAID レベルを拡張可能)

UCSC-MRAID12G RAID コントローラの全バージョンで、最大 24 台の内蔵 SAS ドライブがサポートされます (ただし本サーバのドライブは 12 台に制限)。


■ 内蔵 SAS 接続の Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA

- 最大 24 台の内蔵ドライブ (ただし本サーバでは最大 12 台のドライブを構成可能)
- サーバ背面の専用の PCIe スロットに装着 (ライザ 1 のスロット 1)
- 次の表に示すように、RAID はサポートせず JBOD のみサポート

HBA カードのバージョン	サポート対象の RAID レベル
UCSC-SAS12GHBA	JBOD のみ

■ 外部 SAS 接続の Cisco 9300-8E 12G SAS HBA

- 8 つの外部 SAS ポート
- サーバ背面の PCIe スロットに装着
- FBWC (キャッシュ) またはキャッシュ電源のバックアップなし
- SAS 3.0 準拠

機能/特長	説明
組み込み NIC	マザーボード組み込みの Intel i350 GbE ポート x 2。以下をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 起動前ブート (PXE ブート) ■ iSCSI ブート ■ チェックサムおよびセグメンテーション オフロード ■ NIC チーミング
モジュラ LAN-On-Motherboard (mLOM) スロット	mLOM スロットには、必要に応じて、次のカードを装着できます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Cisco 仮想インターフェイス カード (VIC) ■ 4 ポート Intel i350 1GbE RJ45 ネットワーク インターフェイス カード (NIC)
 <p>注：オプションのカードを mLOM スロットに装着することで、2 つのマザーボード組み込み LAN ポートとは別に、4 つの Intel i350 ポートを追加できます。</p>	
WoL	オンボードの 1 GB BASE-T イーサネット LAN ポートで Wake-on-LAN (WoL) 規格をサポート
前面パネル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前面パネル コントローラはステータス インジケータおよびコントロール ボタンを装備
ACPI	Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポート
ファン	シャーシ： <ul style="list-style-type: none"> ■ ホットスワップ可能なファン (前面から背面への冷却用エアフロー) X 6
統合型管理プロセッサ	Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ファームウェアを実行するベースボード管理コントローラ (BMC)。 CIMC の設定に応じて、1-GbE 管理専用ポート、1-GbE LOM ポート、またはシスコ仮想インターフェイス カード (VIC) を介して CIMC にアクセスできます。
ブート ドライブ	最大 2 台のオプション SATA ドライブをライザ 1 のシャーシ内に搭載できます。2 台の SATA ブート ドライブは、OS ベースのソフトウェア RAID を使用して、AHCI モードで管理します。

注記のシンプルなもの

1. NCSI = Network Communications Services Interface プロトコル。NCSI スロットは、サーバがスタンバイ電源モードの場合でも、電源が入っています。
2. ドライブは自己暗号化ドライブ (SED) としても非自己暗号化ドライブとしても使用できます。

サーバの構成

以下の手順に従って、Cisco UCS C240 M4 高密度 LFF ラック サーバを構成します。

- [ステップ 1 サーバ SKU を確認する \(13 ページ\)](#)
- [ステップ 2 ライザ カードを選択する \(オプション\) \(14 ページ\)](#)
- [ステップ 3 ロック セキュリティ ベゼルを選択する \(オプション\) \(15 ページ\)](#)
- [ステップ 4 CPU を選択する \(16 ページ\)](#)
- [ステップ 5 メモリを選択する \(18 ページ\)](#)
- [ステップ 6 RAID コントローラを選択する \(24 ページ\)](#)
- [ステップ 7 ハード ディスク ドライブ \(HDD\) またはソリッド ステート ドライブ \(SSDS\) を選択する \(31 ページ\)](#)
- [ステップ 8 SED ハード ディスク ドライブ \(HDD\) またはソリッド ステート ドライブ \(SSD\) を選択する \(34 ページ\)](#)
- [ステップ 9 PCIe オプション カードを選択する \(36 ページ\)](#)
- [ステップ 10 ネットワーク カードのアクセサリを選択する \(オプション\) \(41 ページ\)](#)
- [ステップ 11 GPU カードを選択する \(オプション\) \(46 ページ\)](#)
- [ステップ 12 電源ユニットを選択する \(49 ページ\)](#)
- [ステップ 13 AC 電源コードを選択する \(50 ページ\)](#)
- [ステップ 14 工具不要レール キットとオプションのリバーシブルなケーブル管理アームを選択する \(53 ページ\)](#)
- [ステップ 15 NIC モードを選択する \(オプション\) \(54 ページ\)](#)
- [ステップ 16 トラストッド プラットフォーム モジュールを選択する \(オプション\) \(55 ページ\)](#)
- [ステップ 17 Cisco Flexible Flash SD カード モジュールを選択する \(オプション\) \(57 ページ\)](#)
- [ステップ 18 オプションの USB 3.0 ドライブを選択する \(58 ページ\)](#)
- [ステップ 19 オペレーティング システムと付加価値ソフトウェアを選択する \(59 ページ\)](#)
- [ステップ 20 オペレーティング システム メディア キットを選択する \(62 ページ\)](#)
- [ステップ 21 サポート サービスを選択する \(63 ページ\)](#)

ステップ 1 サーバの構成型番を選択する

サーバの製品 ID (PID) を [表 2](#) から選択します。

表 2 C240 M4 高密度 LFF ラック ベース サーバの PID

製品 ID (PID)	説明
UCSC-C240-M4L	UCS C240 M4 LFF、CPU なし、メモリ、HDD、SSD、PCIe カード、工具不要レールキット、または電源、12 ドライブ バックプレーンと SAS エクスパンダを使用

Cisco UCS C240 M4 サーバ :

- 電源、CPU、メモリ、ハード ディスク ドライブ (HDD) 、ソリッド ステート ドライブ (SSD) 、ブート ドライブ、SD カード、ライザ 1、ライザ 2、工具不要レールキット、PCIe カードはベース型番に含まれません。



注：後続のページの手順に従い、必要なコンポーネントとともにサーバを構成します。

ステップ 2 ライザカードを選択する (オプション)

ライザカードのオプションには、ライザカード 1 と 2 のグループがあります。ライザカード 1 には 3 つのオプションがあります。ライザカード 1 を [表 2](#) から 1 つ選択し、ライザカード 2 を [表 3](#) から 1 つ選択します。サーバの背面から見ると、ライザカード 1 は左側に、ライザカード 2 は右側に取り付けます。

表 3 ライザ 1 カードの PID

製品 ID (PID)	説明
UCSC-PCI-1A-240M4	C240 M4 PCIe ライザ 1 アセンブリ (オプション A) (2 個の PCIe スロット : 1x8 および 1x16 GPU 対応)
UCSC-PCI-1B-240M4	C240 M4 PCIe ライザ 1 Assy (オプション B) (3 個の PCIe スロット : 3 個の x8)
UCSC-PCI-1C-240M4	C240 M4 PCIe ライザ 1 アセンブリ (オプション C) (2 個の PCIe スロット : 2 個の SATA ブート ドライブ用の 1x8 および 1x16 プラスコネクタ)

ライザカード 1 を選択すると、ライザでサポートされる PCIe カードと SATA ブート ドライブの数とタイプが決まります。

表 4 ライザ 2 カードの PID

製品 ID (PID)	説明
UCSC-PCI-2-C240M4	C240 M4 用の左側の PCIe ライザ ボード (ライザ 2) (3 個のスロット : 2 x 8 と 1 x 16)

詳細については、「[ライザカード設定およびオプション](#)」 (76 ページ) を参照してください。

ステップ 3 ロック セキュリティ ベゼルを選択する (オプション)

シャーシ前面にオプションのロック ベゼルを取り付けて、ドライブへの不正アクセスを防止できます。

[表 5](#) からロック ベゼルを選択します。

表 5 ロック ベゼル オプション

製品 ID (PID)	説明
UCSC-BZL-C240M4	C240 M4 セキュリティ ベゼル

ステップ 4 CPU を選択する

CPU 機能は次のとおりです。

- Intel Xeon E5-2600 v3 および v4 シリーズ プロセッサ ファミリ CPU
- Intel C610 シリーズ チップセット
- 最大 55 MB のキャッシュ サイズ

CPU の選択

使用可能な CPU を [表 6](#) に示します。

表 6 使用可能な Intel CPU

製品 ID (PID)	インテル プロセッサ モデル	クロック 周波数 (GHz)	消費 電力 (W)	キャッシュ サイズ (MB)	コア	QPI	サポートする DDR4 DIMM の 最大クロック (MHz) ¹
E5-2600 v4 シリーズ プロセッサ ファミリ CPU							
UCS-CPU-E52699AE	E5-2699A v4	2.40	145	55	22	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52699E	E5-2699 v4	2.20	145	55	22	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52698E	E5-2698 v4	2.20	135	50	20	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52697AE	E5-2697A v4	2.60	145	40	16	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52697E	E5-2697 v4	2.30	145	45	18	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52695E	E5-2695 v4	2.10	120	45	18	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52690E	E5-2690 v4	2.60	135	35	14	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52683E	E5-2683 v4	2.10	120	40	16	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52680E	E5-2680 v4	2.40	120	35	14	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52667E	E5-2667 v4	3.20	135	25	8	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52660E	E5-2660 v4	2.00	105	35	14	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52650E	E5-2650 v4	2.20	105	30	12	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52650LE	E5-2650L v4	1.70	65	35	14	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52643E	E5-2643 v4	3.40	135	20	6	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52640E	E5-2640 v4	2.40	90	25	10	8.0 GT/s	2133
UCS-CPU-E52637E	E5-2637 v4	3.50	135	15	4	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52630E	E5-2630 v4	2.20	85	25	10	8.0 GT/s	2,133
UCS-CPU-E52630LE	E5-2630L v4	1.80	55	25	10	8.0 GT/s	2133
UCS-CPU-E52623E	E5-2623 v4	2.60	85	10	4	8.0 GT/s	2133
UCS-CPU-E52620E	E5-2620 v4	2.10	85	20	8	8.0 GT/s	2133
UCS-CPU-E52609E	E5-2609 v4	1.70	85	20	8	6.4 GT/s	1866
UCS-CPU-E52658E	E5-2658 v4	2.30	105	35	14	9.6 GT/s	2,400
UCS-CPU-E52680D	E5-2680 v3	2.50	120	30	12	8.0 GT/s	2133
UCS-CPU-E52640D	E5-2640 v3	2.60	90	20	8	6.4 GT/s	1866

表 6 使用可能な Intel CPU (続き)

製品 ID (PID)	インテル プロセッサ モデル	クロック 周波数 (GHz)	消費 電力 (W)	キャッシュ サイズ (MB)	コア	QPI	サポートする DDR4 DIMM の 最大クロック (MHz) ¹
UCS-CPU-E52620D	E5-2620 v3	2.40	85	15	6	6.4 GT/s	1866
UCS-CPU-E52609D	E5-2609 v3	1.90	85	15	6		1600
UCS-CPU-E52658D	E5-2658 v3	2.20	105	30	12	8.0 GT/s	2133

注記のシンプルな

- 一部の CPU について、この表に示すメモリ アクセス速度よりも高速な DIMM を選択した場合、DIMM のクロック速度は、CPU 側のメモリ アクセス クロックと DIMM クロックのうちの低い方になります。

動作確認済みの構成

(1) 1 CPU 構成 :

- [表 6](#) からいずれかの CPU を選択します。

(2) 2 個の CPU 構成 :

- [表 6 \(16 ページ\)](#) のいずれか 1 つの行から同一仕様の CPU を 2 つ選択します。

注意

- 1 つのプロセッサ、または同一仕様の 2 つのプロセッサを選択できます。
- 必要なサーバ機能、構成に応じて、選択する CPU の数を決定します。次のセクションを参照してください。
 - [ステップ 5 メモリを選択する \(16 ページ\)](#) (メモリ ミラーリング セクション)
 - [ステップ 9 PCIe オプション カードを選択する \(36 ページ\)](#)
 - [表 11 \(ページ 28\)](#) (RAID サポート表)
 - [GPU カードを選択する \(オプション\) \(46 ページ\)](#)
- 最適なパフォーマンスを得るには、各プロセッサでサポートされる最高クロック速度の DIMM を選択します ([表 6 \(16 ページ\)](#) を参照)。この表に示す速度よりも低速または高速な DIMM を選択した場合、最適なパフォーマンスは得られません。

ステップ 5 メモリを選択する

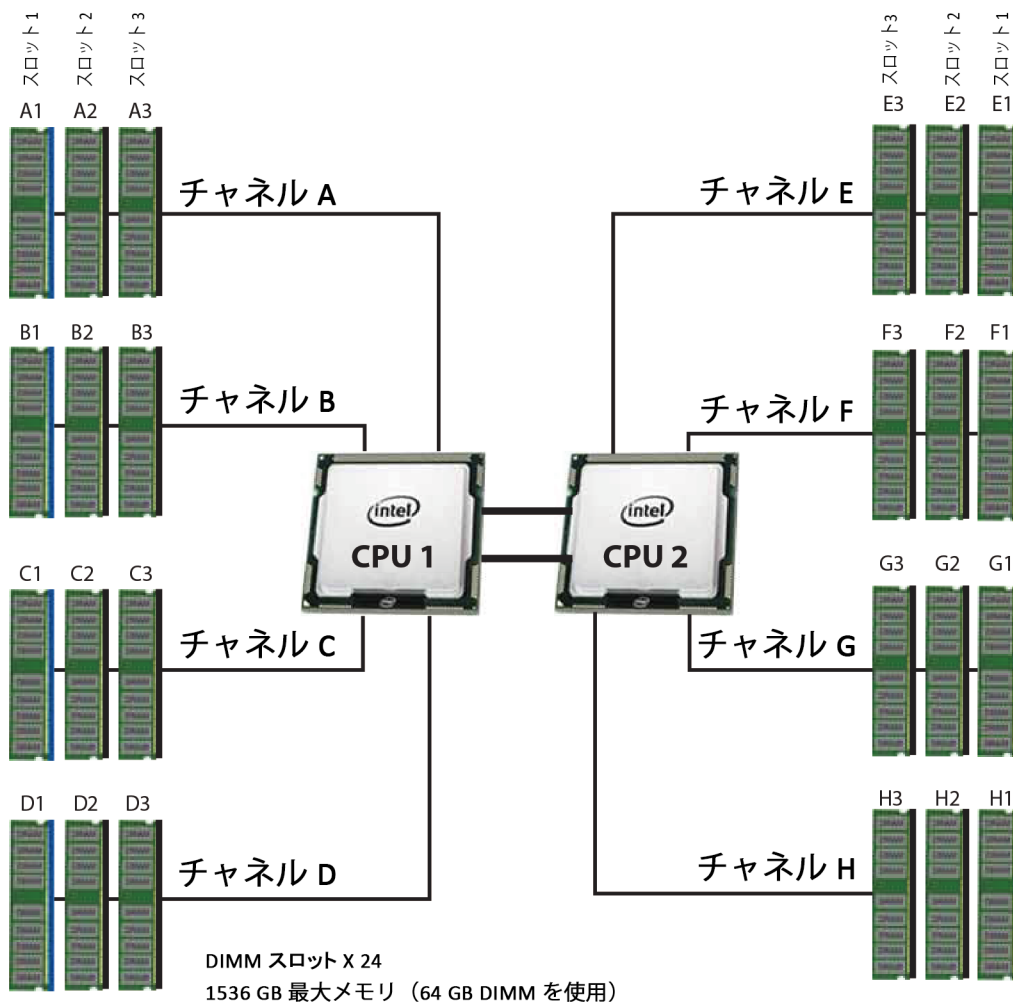
標準メモリの機能は次のとおりです。

■ DIMM

- クロック速度：2400 MHz または 2133 MHz
- DIMM あたりのランク：1、2、4、または 8
- 動作時の電圧：1.2 V
- Registered ECC DDR4 DIMM (RDIMM) または Load Reduced DIMM (LRDIMM)

- メモリは、[図 5](#) に示すように、CPU あたり 4 つのメモリ チャンネルと、チャンネルあたり最大 3 つの DIMM で構成されます。

図 5 C240 M4 LFF メモリ構成



メモリ (DIMM) とメモリ ミラーリングの選択

メモリの構成とメモリ ミラーリング オプションが必要かどうかを選択します。使用可能なメモリ DIMM とミラーリング オプションを [表 7](#) に示します。



注：メモリ ミラーリングを有効にすると、メモリ サブシステムにより、同じデータが 2 つのチャンネルに同時に書き込まれます。解決できないメモリ エラーにより、一方のチャンネルからのメモリ読み取りで正しくないデータが返された場合、自動的にもう一方のチャンネルからデータが取得されます。いずれかのチャンネルで一時的または軽度のエラーが発生しても、ミラー データには影響しません。DIMM とミラー DIMM の同一場所で同時にエラーが発生しない限り、処理を継続できます。ただし、メモリ ミラーリングを使用すると、搭載された 2 つのチャンネルの一方分の容量のデータしか提供されないため、オペレーティング システムで使用できるメモリの容量は 50% 減少します。

表 7 使用可能な DDR4 DIMM

製品 ID (PID)	PID の説明	電圧	ランク/ DIMM
2400-MHz DIMM オプション			
UCS-ML-1X644RV-A	64 GB DDR4-2400-MHz LRDIMM/PC4-19200/クアッド ランク / X 4	1.2 V	4
UCS-ML-1X324RV-A	32 GB DDR4-2400-MHz LRDIMM/PC4-19200/クアッド ランク / X 4	1.2 V	4
UCS-MR-1X322RV-A	32 GB DDR4-2400-MHz RDIMM/PC4-19200/デュアル ランク / X 4	1.2 V	2
UCS-MR-1X162RV-A	16 GB DDR4-2400-MHz RDIMM/PC4-19200/デュアル ランク / X 4	1.2 V	2
UCS-MR-1X161RV-A	16 GB DDR4-2400-MHz RDIMM/PC4-19200/シングル ランク / X 4	1.2 V	1
UCS-MR-1X081RV-A	8 GB DDR4-2400-MHz RDIMM/PC4-19200/シングル ランク / X 4	1.2 V	1
メモリ ミラーリング オプション			
N01-MMIRROR	メモリ ミラーリング オプション		

動作確認済みの構成

(1) 1 CPU 構成、メモリ ミラーリングなし：

- 1 ~ 12 DIMM から選択します。詳細については、「[メモリ搭載ルール](#)」 (69 ページ) を参照してください。

(2) 1 CPU 構成、メモリ ミラーリングあり：

- 2、4、8、または 12 の同じ DIMM を選択します。DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

DIMM 総数	1 CPU 時の各チャンネル DIMM の配置 (3DPC 用の同一仕様のデュアル ランク DIMM または 2DPC 用の同一仕様のクアッド ランク DIMM)		
	青色スロット	黒色スロット	白色スロット
2	(A1、B1)	—	—
4	(A1、B1)、(C1、D1)	—	—
8	(A1、B1)、(C1、D1)	(A2、B2)、(C2、D2)	—
12	(A1、B1)、(C1、D1)	(A2、B2)、(C2、D2)	(A3、B3)、(C3、D3)

- [表 7 \(19 ページ\)](#) に示すメモリ ミラーリング オプション (N01-MMIRROR) を選択します。

(3) 2 CPU 構成、メモリ ミラーリングなし：

- CPU あたり 1 ~ 12 の DIMM から選択します。詳細については、「[メモリ搭載ルール \(69 ページ\)](#)」を参照してください。

(4) 2 CPU 構成、メモリ ミラーリングあり：

- CPU あたり 2、4、8、または 12 の同じ DIMM を選択します。DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

CPU あたりの DIMM の数	1 CPU 時の各チャンネル DIMM の配置 (3DPC 用の同一仕様のデュアル ランク DIMM または 2DPC 用の同一仕様のクアッド ランク DIMM)			2 CPU 時の各チャンネル DIMM の配置 (3DPC 用の同一仕様のデュアル ランク DIMM または 2DPC 用の同一仕様のクアッド ランク DIMM)		
	青色スロット	黒色スロット	白色スロット	青色スロット	黒色スロット	白色スロット
2	(A1、B1)	—	—	(E1、F1)	—	—
4	(A1、B1)、(C1、D1)	—	—	(E1、F1)、(G1、H1)	—	—
8	(A1、B1)、(C1、D1)	(A2、B2)、(C2、D2)	—	(E1、F1)、(G1、H1)	(E2、F2)、(G2、H2)	—
12	(A1、B1)、(C1、D1)	(A2、B2)、(C2、D2)	(A3、B3)、(C3、D3)	(E1、F1)、(G1、H1)	(E2、F2)、(G2、H2)	(E3、F3)、(G3、H3)

- [表 7 \(19 ページ\)](#) に示すメモリ ミラーリング オプション (N01-MMIRROR) を選択します。



注：システム パフォーマンスは、両方の CPU で DIMM のタイプと数量が同じで、すべてのチャンネルがサーバ内の CPU 全体で等しく利用されている場合に最適化されます。

注意

- システム速度は、各チャンネルに装着する DIMM の数によって決まります。詳細については、[表 8](#) および [表 9 \(22 ページ\)](#) を参照してください。

表 8 CPU 別の 2133-MHz DIMM メモリ速度

DIMM 速度	DPC	1600-MHz 対応 CPU		1866-MHz 対応 CPU		2133-MHz 対応 CPU	
		LRDIMM (QR)	RDIMM (DR、SR)	LRDIMM (QR)	RDIMM (DR、SR)	LRDIMM (QR)	RDIMM (DR、SR)
2133 DIMM	1DPC	1600	1600	1866	1866	2133	2133
	2DPC	1600	1600	1866	1866	2133	2133
	3DPC	1600	1600	1600	1600	1866	1866 (32 GB RDIMM と 16 GB DIMM) 1600 (64 GB TSV RDIMM、 8 GB RDIMM)

表 9 v4 CPU 別の 2400-MHz DIMM メモリ速度

DIMM および CPU の周波数	DPC	LRDIMM (QRx4) - 64 GB ¹	RDIMM (2Rx4) - 32 GB	LRDIMM (QRx4) - 32 GB ¹	RDIMM (SRx4) - 16 GB	RDIMM (SRx4) - 8 GB
		1.2 V	1.2 V	1.2 V	1.2 V	1.2 V
DIMM = 2400 MHz CPU = 2400 MHz	1DPC	2400 MHz	2400 MHz	2400 MHz	2400 MHz	2400 MHz
	2DPC ²	2400 MHz	2400 MHz	2400 MHz	2400 MHz	2400 MHz
	3DPC	2133 MHz	1866 MHz	2133 MHz	2133 MHz	2133 MHz
DIMM = 2400 MHz CPU = 2133 MHz	1DPC	2133 MHz	2133 MHz	2133 MHz	2133 MHz	2133 MHz
	2DPC	2133 MHz	2133 MHz	2133 MHz	2133 MHz	2133 MHz
	3DPC	1866 MHz	1866 MHz	1866 MHz	1866 MHz	1600 MHz
DIMM = 2400 MHz CPU = 1866 MHz	1DPC	1866 MHz	1866 MHz	1866 MHz	1866 MHz	1866 MHz
	2DPC	1866 MHz	1866 MHz	1866 MHz	1866 MHz	1866 MHz
	3DPC	1866 MHz	1600 MHz	1866 MHz	1600 MHz	1600 MHz

注記のシンプルなもの

1. 後日リリース予定
2. 異なる容量の 2400 MHz RDIMM を混在させると (4X32 GB + 4X16 GB など)、メモリ速度は 1 段階クロックが下がり、2133 MHz になります。
 - C240 M4 サーバは、以下に示す 4 つの異なるメモリ信頼性/可用性/保守性 (RAS) モードをサポートします。
 - 独立チャネル モード
 - ミラー チャネル モード
 - ロックステップ チャネル モード
 - システム レベル RAS モードの組み合わせには次の制限があります。
 - プラットフォーム単位の独立チャネル モードとロックステップ チャネル モードを混在させることはできません。
 - プラットフォーム単位の非ミラー モードとミラー モードを混在させることはできません。
 - プラットフォーム単位のロックステップ モードとミラー モードを混在させることはできません。
 - RDIMM と LRDIMM を混在させないでください。
 - 64 GB DDR4-2133-MHz TSV-RDIMM と他の DIMM を混在させないでください。
 - シングル ランク DIMM は、同じチャネル内でデュアル ランク DIMM と混在できます。
 - 同じチャネル内でクアド ランク DIMM とシングルまたはデュアル ランク DIMM を混在させないでください。
 - より良いメモリ アクセス性能を得るために、次の技術制約を理解してください。

- タイミングパラメータが異なる DIMM は、同じチャンネル内の別々のスロットに装着できますが、最も遅い DIMM に対応したメモリアクセスクロックが他のすべてメモリに適用されます。そのため、それよりも速い DIMM は装着された場合でも、最も遅い DIMM でサポートされるメモリアクセスクロックで動作することになります。
 - 1 つの DIMM を使用する場合は、特定のチャンネルの DIMM スロット 1 (CPU から最も遠いスロット) に装着する必要があります。
 - シングル、デュアル、またはクアッド ランク DIMM が 2DPC または 3DPC 用に装着される場合は、必ず、数字の大きいランクの DIMM を先に (最も遠いスロットから) 装着します。3DPC の例では、最初に DIMM スロット 1 にクアッド ランク DIMM を装着します。次に、DIMM スロット 2 にデュアル ランク DIMM を装着します。最後に、DIMM スロット 3 にシングル ランク DIMM を装着します。
- CPU 1 と CPU 2 (装着する場合) 用の DIMM の構成は、常に同一である必要があります。
 - ミラーリングを使用する場合は、ペア化された DDR4 バス全体で DIMM を同じペアで装着する必要があります。つまり、チャンネル A と B 内のミラー ペアを同じにして、チャンネル C と D 内のペアを同じにする必要があります。ただし、チャンネル A と B で使用されている DIMM とチャンネル C と D で使用されている DIMM を同じにする必要はありません。
 - メモリのミラーリングを使用すると、使用可能なメモリ量が 50% 減少します (ミラーリングを行う DIMM の数は均一にしてください)。
 - 非 ECC DIMM はサポートされていません。
 - 前の世代のサーバのシスコ メモリ (DDR3) はこのサーバと互換性がありません。
- メモリの詳細については、[「CPU と DIMM」 \(68 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 6 RAID コントローラを選択する

RAID コントローラ オプション (内蔵 HDD/SSD のサポート)

Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ

Cisco 12G SAS RAID コントローラを選択し、専用の RAID コントローラ カード スロットに装着できます。この RAID コントローラは、RAID 0、1、10 (FBWC オプションなし)、および RAID 0、1、10、5、6、50、60 (FBWC オプションあり) をサポートします。



注: 1 つの RAID コントローラでサポートされる RAID グループ (仮想ドライブ) の数は次のとおりです。

- Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ = 64



注: このコントローラは、モジュラ型のフラッシュバック書き込みキャッシュ (FBWC) オプションを 1 GB、2 GB、4 GB から選んで構成できます。コントローラに FBWC が備わっており、ストライピングの RAID 設定 (RAID 0、10、50、60) を使用している場合は、すべてのストライプ サイズ (8、16、32、64、128、256、512、1024 KB) が使用できます。コントローラに FBWC がない場合は、64 KB のストライプ サイズのみが使用できます。

SAS HBA (内蔵 HDD/SSD/JBOD をサポート)

RAID コントローラの代わりに、内蔵ドライブ接続 (非 RAID) 用に次の SAS HBA を選択できます。

- 専用の RAID コントローラ スロットに装着する Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA

SAS HBA (外部 JBOD サポート)

RAID コントローラまたは内蔵ドライブ用 JBOD SAS HBA に加えて、外部ドライブ接続 (非 RAID) 用に次の SAS HBA を選択できます。

- Cisco 9300-8e 12G SAS HBA (外部 JBOD 接続用に 8 つの SAS ポートが得られます)

RAID ボリュームと RAID グループ

RAID ボリュームを作成する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 各 RAID ボリューム内の各ドライブで同じ容量を使用する。
- Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ アップグレードの場合 :
 - 各 RAID ボリューム内ですべての SAS HDD を使用する

RAID コントローラごとにサポートされている RAID グループ (仮想ドライブ) の数は次のとおりです。

- Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ = 64

コントローラ オプションを選択する

次のように選択します。

- Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラまたは Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA (表 10 を参照)
- 混合コントローラ :
 - Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ、または Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA を 1 つ。および
 - 外部 SAS JBOD/エンクロージャ接続用の Cisco 9300-8E 12G SAS HBA を 1 つまたは 2 つ (表 10 を参照)、または
- デュアル HBA :
 - 2 つの Cisco 9300-8E 12G SAS HBA (JBOD サポートは外部ドライブに対してのみ) (表 10 (26 ページ))



注 : Cisco 9300-8E 12G SAS HBA を Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA と同じサーバで混在させるには、次のファームウェア レベルが必要になります。

- Cisco IMC/BIOS 2.0(8) 以降
- Cisco UCS Manager 2.2(6) 以降 (統合サーバの場合)



注 : Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラを選択するときに、FBWC オプションを追加することもできます。FBWC オプションでは、RAID コントローラの書き込みキャッシュがバックアップされます。FBWC は、1 GB、2 GB、4 GB の各サイズが用意されています。詳細については、表 10 を参照してください。




注 : 内蔵/外部 RAID コントローラのすべての有効な組み合わせについては、「[FRaid の詳細](#)」 (74 ページ) を参照してください。

表 10 ハードウェア コントローラ オプション

製品 ID (PID)	PID の説明
内蔵ドライブ用コントローラ	
次の Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラまたは Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA コントローラを選択した場合は、専用の内蔵スロットにインストールされた状態で出荷されます。	
UCSC-MRAID12G	<p>Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 最大 24 台の内蔵 SAS HDD と SAS/SATA SSD をサポート（本サーバでは 12 台のドライブに制限） ■ JBOD、RAID 0、1、10（FBWC オプションの選択なし）をサポート。またフラッシュバック書き込みキャッシュのアップグレードを選択した場合は RAID 5、6 もサポート（次の表を参照） ■ SED ドライブは、UCSC-MRAID12G RAID コントローラとフラッシュバック式書き込みキャッシュ モジュールのいずれか（UCSC-MRAID12G-1GB、UCSC-MRAID12G-2GB、または UCSC-MRAID12G-4GB）との組み合わせのみと互換性があります。 ■ すべての自己暗号化ドライブ（SED）では、スタンドアロン管理（CIMC）はローカル キーの設定と管理でサポートされています（UCSM はサポートされていません）。また、UCSM 3.1(3) よりキー設定ソフトとも連携管理可能です。
UCSC-SAS12GHBA	<p>Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 最大 24 台の内蔵 SAS HDD と SAS/SATA SSD をサポート（本サーバでは 12 台のドライブに制限） ■ JBOD モードのみサポートします（RAID 機能なし）。SDS（ソフトウェアデファインド ストレージ）に最適です。また、RAID コントローラが I/O ボトルネックになるため最大限の IOP（外部 SSD 接続用）を必要とするような環境にも最適です。
UCSC-PSAS12GHBA ¹	<p>Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 最大 24 台の内蔵 SAS HDD と SAS/SATA SSD をサポート（本サーバでは 12 台のドライブに制限） ■ JBOD モードのみサポートします（RAID 機能なし）。SDS（ソフトウェアデファインド ストレージ）に最適です。また、RAID コントローラが I/O ボトルネックになるため最大限の IOP（外部 SSD 接続用）を必要とするような環境にも最適です。 ■ UCSC-SAS12GHBA と同じ機能ですが、提供ベンダーは Microsemi です。
Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ用 Flash-Backed Write Cache (FBWC) アップグレード オプション	
UCSC-MRAID12G-1GB	1 GB FBWC、1 GB MB メモリ、および書き込みキャッシュ バックアップ用 SuperCap を含みます。JBOD、RAID 0、1、10、5、6、50、60 をサポート。
UCSC-MRAID12G-2GB	2 GB FBWC、2 GB MB メモリ、および書き込みキャッシュ バックアップ用 SuperCap を含みます。JBOD、RAID 0、1、10、5、6、50、60 をサポート。
UCSC-MRAID12G-4GB	4 GB FBWC、4 GB MB メモリ、および書き込みキャッシュ バックアップ用 SuperCap を含みます。JBOD、RAID 0、1、10、5、6、50、60 をサポート。

表 10 ハードウェア コントローラ オプション (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
外部 JBOD 接続用 SAS HBA	
このカードの 2 つの SFF8644 mini-SAS HD コネクタは、シャーシ背面からアクセスできます。	
UCSC-SAS9300-8E	外部 JBOD 接続用 Cisco 9300-8e 12G SAS HBA <ul style="list-style-type: none"> ■ 8 つのワイド SAS ポートを使用して外部 JBOD をサポート
	注: Cisco 9300-8e 12G SAS HBA 外部ドライブ エンクロージャのサポートについては、次のリンクにある互換性リストのエンクロージャ セクションを参照してください。 https://www.broadcom.com/support/interop-compatibility [英語] 外部 JBOD エンクロージャに関するテクニカル サポートについては、ストレージ ベンダーにお問い合わせください。
RAID カードの工場設定オプション (Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA では使用できません)	
R2XX-SRAID0	シングル ディスク RAID 0 設定の有効化
R2XX-RAID0	出荷時の RAID 構成オプション (ストライピング) RAID 0 設定が有効になります。最低 1 つのハード ドライブが必要です。
R2XX-RAID1	出荷時の RAID 構成オプション (ミラーリング) RAID 1 設定が有効になります。同じサイズ、速度、容量のドライブが 2 個必要です。
R2XX-RAID5	出荷時の RAID 構成オプション RAID 5 設定が有効になります。同じサイズ、速度、容量のドライブが 3 個以上必要です。
R2XX-RAID6	出荷時の RAID 構成オプション RAID 6 設定が有効になります。同じサイズ、速度、容量のドライブが 4 個以上必要です。

注記のシンプルな

1. より高い IOPS をサポートします。



注: RAID レベル 50 および 60 は出荷時の構成としては選択できませんが、[表 10 \(26 ページ\)](#) に示すコントローラで機能としてはサポートされています。

動作確認済みの構成

- Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ オプションは、最大 12 台の内蔵 SAS HDD と RAID 0、1、10、5、6、50、60 までをサポートします (FBWC オプションを選択)。
- Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA オプションは、JBOD をサポートする最大 12 台の内蔵 SAS HDD をサポートします。
- Cisco 9300-8e 12G SAS HBA は、JBOD をサポートする最大 8 個の外部 SAS ポートをサポートします。

サポートされるコントローラ設定オプションの概要については、[表 11](#) を参照してください。

表 11 サポートされているコントローラ設定

CPU の数	Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラまたは Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA ¹ (一度に 1 つだけインストール 可能)		Cisco 9300-8E 12G SAS HBA ²	サポート されるドラ イブ数	RAID サポート	選択可能な内 蔵ドライブの タイプ
	Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ	Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA				
1	専用スロットに 装着	専用スロットに 装着	カード なし	12 (内蔵)	0、1、10、5、6、 50、60 (12G SAS) または JBOD (モジュラ SAS HBA)	SAS HDD、 SAS/SATA SSD
		上記のうち 1 台に 1 つのみ 装着可能				
1	カードなし	カードなし	装着済み スロット 1、2、 または 3	0 (内 蔵)、1024 (外部)	JBOD	なし
1	専用スロットに 装着	専用スロットに 装着	装着済み スロット 1、2、 または 3	12 (内 蔵)、1024 (外部)	0、1、10、5、6、 50、60 (12G SAS) または JBOD (モジュラ SAS HBA) および JBOD (9300)	SAS HDD、 SAS/SATA SSD
		上記のうち 1 台に 1 つのみ 装着可能				

表 11 サポートされているコントローラ設定 (続き)

CPU の数	Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラまたは Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA ¹ (一度に 1 つだけインストール 可能)		Cisco 9300-8E 12G SAS HBA ²	サポート されるド ライブ数	RAID サポート	選択可能な内 蔵ドライブの タイプ
	Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ	Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA				
2	専用スロ ットに装着	専用スロットに 装着	カード なし	12 (内蔵)	0、1、10、5、6、 50、60 (12G SAS) または JBOD (モジュラ SAS HBA)	SAS HDD、 SAS/SATA SSD
上記のうち 1 台に 1 つのみ 装着可能						
2	カードなし	カードなし	任意のス ロットに 装着	0 (内 蔵)、1024 (外部)	JBOD	なし
2	専用スロ ットに装着	専用スロットに 装着	任意のス ロットに 装着	12 (内 蔵)、1024 (外部)	0、1、10、5、6、 50、60 (12G SAS) または JBOD (モジュラ SAS HBA) および JBOD (9300)	SAS HDD、 SAS/SATA SSD
上記のうち 1 台に 1 つのみ 装着可能						

注記のシンプルな

1. Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラまたは Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA 以外のデバイスからブートする場合、これらのカードを取り外す必要はありません。スロットで OPROM を無効にすれば、カードを装着したままブートできます。
2. 外部ドライブ PCIe コントローラ カードは Cisco 9300-8e 12G SAS HBA で、Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラまたは Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA と同時に装着できます。

注意

- 装着できる Cisco 9300-8e 12G SAS HBA は 1 つだけですが、搭載されている CPU の数に応じて、任意のスロットに装着できます。このシステムでは、1 つの Cisco 9300-8e 12G SAS HBA とストレージ アクセラレータ カードに加えて Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラまたは Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA を組み合わせて使用できます。
- Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラの場合は、出荷時の RAID 構成 (FBWC オプションを選択した場合は RAID 0、1、10、5、6、50、60) をオプションで選択できます。選択する RAID レベルは、選択したコントローラに対応していなければなりません。RAID レベル 50 および 60 はサポートされています。ただし、構成オプションとしては

選択できません。内蔵 SSD (SATA ブート ドライブ) 用の AHCI と組み合わせることもできません。



注：サポートされる RAID の詳細については、[「RAID の詳細」 \(74 ページ\)](#) と [「RAID オプション ROM \(OPROM\) 設定」 \(75 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 7 ハード ディスク ドライブ (HDD) またはソリッド ステート ドライブ (SSD) を選択する

ディスク ドライブの標準仕様は次のとおりです。

- 3.5 インチ フォーム ファクタ
- ホットプラグ可能
- スライド式マウント



注：

すべての SED HDD (自己暗号化対応ドライブ) は FIPS 140-2 準拠です
 SED SSD (10X endurance) は FIPS 140-2 準拠です
 SED SSD (3X endurance および 1X endurance) は FIPS 140-2 に準拠していません

ドライブの選択

利用可能な HDD および SSD を [表 12](#) に示します。

表 12 使用できるホットプラグ可能スレッドマウント HDD

製品 ID (PID)	PID の説明	ドライブ タイプ	容量
HDD			
UCS-HD8T7KEM	8 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (512e)	SAS	8 TB
UCS-HD10T7KEM	10 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (512e)	SAS	10 TB
UCS-HD6T7KEM	6 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (512e)	SAS	6 TB
UCS-HD4T7KL12G	4 TB 12 G SAS 7.2K RPM LFF HDD	SAS	4 TB
UCS-HD2T7KL12G	2 TB 12 G SAS 7.2K RPM LFF HDD	SAS	2 TB
UCS-HD1T7KL12G	1 TB 12 G SAS 7.2K RPM LFF HDD	SAS	1 TB
UCS-HD6T7KL4K ¹	6 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (4K セクター形式)	SAS	6 TB
UCS-HD12TB10KHY-E	1.2 TB 3.5 インチ 12G SAS 10K RPM HDD	SAS	1.2 TB
UCS-HD600G15KHY-E	600 GB 3.5 インチ Hybrid 6G SAS 15K RPM HDD	SAS	600 GB
UCS-HD2T7KL6GA	2 TB 6G SATA 7.2K RPM LFF HDD	SATA	2 TB
UCS-HD4T7KL4K	4 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (4K)	SAS	4 TB
UCS-HD8T7KL4KHM	8 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (4K)	SAS	8 TB
UCS-HD4T7KS3-E	4TB SAS 7.2K RPM LFF HDD	SAS	4 TB
UCS-HD12T7KL6GHA	12 TB 6G SATA 7.2K RPM LFF HDD (512e)	SATA	12 TB
UCS-HD6T12GK9	6 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (512e)	SAS	6 TB
UCS-HD8T7KL6GA	8 TB 6G SATA 7.2K RPM LFF HDD	SATA	8 TB
UCS-HD10T7KL6GA	10 TB 6G SATA 7.2K RPM LFF HDD	SATA	10 TB
UCS-HD12T7KL4KHM	12 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (4K)	SAS	12 TB

表 12 使用できるホットプラグ可能スレッドマウント HDD (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明	ドライブ タイプ	容量
SSD			
UCS-SD400G1KHY-EP	400 GB 3.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (10X DWPD)	SATA	400 GB
UCS-SD16TG1KHY-EP	1.6 TB 3.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3X DWPD)	SATA	1.6 TB
UCS-HY480GIS3-EP	480 GB 3.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3 倍の耐久性) (Intel S4600)	SATA	480 GB
UCS-HY19TIS3-EP	1.9 TB 3.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3 倍の耐久性) (Intel S4600)	SATA	1.9 TB
UCS-HY16TSAS3-EP	1.6TB 3.5 インチ Enterprise performance 12G SAS SSD (3X DWPD)	SAS	1.6 TB
UCS-HY800GSAS3-EP	800GB 3.5 インチ Enterprise performance 12G SAS SSD (3X DWPD)	SAS	800 GB
UCS-HY400GSAS3-EP	400GB 3.5 インチ Enterprise performance 12G SAS SSD (3X DWPD)	SAS	400 GB
UCS-SD120G0KHY-EV	120 GB 3.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (1X DWPD)	SATA	120 GB

注：シスコではさまざまなベンダーのソリッド ステート ドライブを使用しています。すべてのソリッド ステート ドライブは、物理的な書き込み制限の影響を受け、製造元によって設定された最大使用制限仕様が異なります。ソリッド ステート ドライブの最大使用制限は製造元の仕様に従って、交換判断となります。

利用可能なブート ドライブを表 13 に示します。

表 13 構成可能なブート ドライブ (シャーシ内部にマウント)

製品 ID (PID)	PID の説明	ドライブ タイプ	容量
ブート ドライブ			
UCS-SD16TBKS4-EB	1.6 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)	SATA	1.6 TB
UCS-SD480GBKS4-EB	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)	SATA	480 GB
UCS-SD240GBKS4-EB	240 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)	SATA	240 GB
UCS-SD120GBKS4-EB	120 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)	SATA	120 GB

動作確認済みの構成

(1) Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ

- Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラを選択した場合は、次のオプションを選択できます。
 - FBWC オプションがない Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ (JBOD、RAID 0、1、10 をサポート)
 - FBWC オプションがある Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ (JBOD、RAID 0、1、10、5、6、50、60 をサポート)

- いずれのオプションでも、[表 12 \(31 ページ\)](#) に示す SAS HDD を最大 12 台選択します。Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラでは SATA HDD がサポートされていません。

(2) Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA

- Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA を選択した場合は、最大 12 台の SAS HDD を選択します。詳細については、「[RAID コントローラを選択する](#)」 (24 ページ) を参照してください。

(3) ブート ドライブを使用するシステム

- SATA SSD ブート ドライブを使用してシステムを構成する場合は、[表 13 \(32 ページ\)](#) から最大 2 台の同一仕様のブート ドライブを選択します。



注：2 台の SATA SSD ブート ドライブは、OS ベースのソフトウェア RAID を使用して、AHCI モードで管理されます。OS ソフトウェア RAID で管理されるこれら 2 台のドライブは、Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラで管理されるドライブ、または Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA と共存できます。UCSM は、これまでに説明した他のドライブの RAID 方法と合わせて、RAID 1 モードのブート ドライブ構成をサポートします。ドライブはライザ カード 1 (オプション 3) の SATA ブート ドライブ コネクタに直接装着し、シャーシ内にマウントします。内蔵ブート ドライブは、前面搭載のホットスワップ可能なドライブ スレッドとは異なる、独自の内蔵ドライブ スレッドにマウントされています。「[ライザ カード設定およびオプション](#)」 (76 ページ) を参照してください。

注意

- Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラまたは Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA を使用する場合は、SAS HDD のみ選択できます。
- 1 ~ 2 台のブート ドライブを選択する場合は、最大 1 つの GPU を選択できます。GPU はライザ 2 (UCSC-PCI-2-C240M4) のスロット 5 に装着する必要があります。
- 最大 2 台の 400 GB 3.5 インチ ハイブリッド エンタープライズ パフォーマンス 12G SSD を搭載できます。
- SED ドライブ (「[SED ハード ディスク ドライブ \(HDD\) またはソリッド ステート ドライブ \(SSD\) を選択する](#)」 (34 ページ) を参照) は、[表 12 \(31 ページ\)](#) の非 SED ドライブと混在させることができます。

ディスク パフォーマンスおよび IO 特性については、次を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/products/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/whitepaper-c11-738090.html> [英語]

ステップ 8 SED ハード ディスク ドライブ (HDD) またはソリッドステート ドライブ (SSD) を選択する

ディスク ドライブの標準仕様は次のとおりです。

- 自己暗号化ドライブ (SED)
- 3.5 インチ フォーム ファクタ
- ホットプラグ可能
- スライド式マウント



注：

すべての SED HDD (自己暗号化対応ドライブ) は FIPS 140-2 準拠です
 SED SSD (10X endurance) は FIPS 140-2 準拠です
 SED SSD (3X endurance および 1X endurance) は FIPS 140-2 に準拠していません

ドライブの選択

利用可能な HDD および SSD を [表 12](#) に示します。

表 14 使用可能なホットプラグ対応型自己暗号化スレッドマウント HDD

型番 (PID)	PID の説明 ¹	ドライブ タイプ	容量
HDD			
UCS-HD6T12GAK9 ²	6 TB 7.2K RPM LFF HDD (4K セクター形式、SED)	SAS	6 TB
UCS-HD4T12GK9	4 TB 7.2K RPM HDD (SED)	SAS	4 TB
UCS-HD600G15CK9	600 GB 12G SAS 15K RPM LFF HDD (SED)	SAS	600 GB
SSD			
UCS-SD800GBCK9	800GB Enterprise performance SAS LFF SSD (10X DWPD、SED)	SAS	800 GB
UCS-SD400GBCK9	400GB Enterprise performance SAS LFF SSD (10X DWPD、SED)	SAS	400 GB

注：シスコではさまざまなベンダーのソリッドステートドライブを使用しています。すべてのソリッドステートドライブは、物理的な書き込み制限の影響を受け、製造元によって設定された最大使用制限仕様が異なります。ソリッドステートドライブの最大使用制限は製造元の仕様に従って、交換判断となります。

注記のシンプルな

1. すべての自己暗号化ドライブ (SED) では、スタンドアロン管理 (CIMC) はローカル キーの設定と管理でサポートされています (UCSM はサポートされていません)。また、UCSM 3.1(3) よりキー設定ソフトとも連携管理可能です。また、4K セクター形式のドライブは VMware をサポートせず、UEFI ブートを必要とします。

2. UCS ラック サーバが 4K セクター サイズ ドライブをサポートするには、ファームウェア バージョンが 2.0(4) 以降である必要があります。

4K セクター サイズのドライブでサポートされるオペレーティング システムは以下のとおりです。

- Windows : Win2012 および Win2012R2

- Linux : RHEL 6.5/6.6/6.7/7.0/7.2/SLES 11 SP3 および SLES 12

- VMware は、ESXi 6.7 以降の 4K Native ドライブをサポートします。それ以前のバージョンの ESXi はすべて 512e フォーマット ドライブのみをサポートします。

UEFI モードは 4K セクター サイズ ドライブからの起動時に使用する必要があります。レガシー モードはサポートされていません。4K セクター サイズ ドライブと 512 バイト セクター サイズ ドライブを同じ RAID ボリュームに配置しないでください。

動作確認済みの構成

(1) Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ

- Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラを選択した場合は、次のオプションを選択できます。
 - *FBWC* オプションがある Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ (JBOD、RAID 0、1、10、5、6、50、60 をサポート)
 - [表 12 \(31 ページ\)](#) に示す SAS HDD を最大 12 台選択します。Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラでは SATA HDD がサポートされていません。

詳細については、[「RAID コントローラを選択する」 \(24 ページ\)](#) を参照してください。

注意

- Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラを使用している場合は、SAS HDD のみ選択できます。
- 最大 2 台の 400 GB 3.5 インチ ハイブリッド エンタープライズ パフォーマンス 12G SSD を搭載できます。
- 非 SED ドライブ ([「ハードディスク ドライブ \(HDD\) またはソリッド ステート ドライブ \(SSD\) を選択する」 \(31 ページ\)](#) を参照) は、[表 14 \(34 ページ\)](#) の SED ドライブと混在させることができます。
- SED ドライブは、UCSC-MRAID12G RAID コントローラとフラッシュバック式書き込みキャッシュ モジュールのいずれかとの以下の組み合わせである必要があります。
 - UCSC-MRAID12G-1GB、
 - UCSC-MRAID12G-2GB、
 - UCSC-MRAID12G-4GB

ステップ 9 PCIe オプション カードを選択する

搭載可能な PCIe カード

- モジュール LAN-On-Motherboard (mLOM)
- 仮想インターフェイス カード (VIC)
- ネットワーク インターフェイス カード (NIC)
- 統合型ネットワーク アダプタ (CNA)
- ホスト バス アダプタ (HBA)
- UCS ストレージ アクセラレータ

PCIe オプション カードの選択

使用可能な PCIe オプション カードを [表 15](#) に示します。

表 15 使用可能な PCIe オプション カード ¹

製品 ID (PID)	PID の説明	カードの高さ
モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) ²		
UCSC-MLOM-C10T-02	Cisco UCS VIC1227T VIC MLOM - デュアル ポート 10GBaseT	該当なし
UCSC-MLOM-CSC-02	Cisco UCS VIC1227 VIC MLOM デュアル ポート 10 Gb SFP+	該当なし
UCSC-MLOM-IRJ45	Intel i350 クアッド ポート MLOM NIC	該当なし
UCSC-MLOM-C40Q-03	Cisco VIC 1387 デュアル ポート 40 Gb QSFP CNA MLOM	該当なし
仮想インターフェイス カード (VIC)		
UCSC-PCIE-CSC-02	Cisco VIC 1225 デュアル ポート 10 Gb SFP+ CNA	ハーフ
UCSC-PCIE-C10T-02	Cisco VIC 1225T デュアル ポート 10GBaseT CNA	ハーフ
UCSC-PCIE-C40Q-03	Cisco VIC 1385 デュアル ポート 40 Gb QSFP+ CNA w/RDMA	ハーフ
ネットワーク インターフェイス カード (NIC)		
1 Gb NIC		
UCSC-PCIE-IRJ45	Intel i350 クアッド ポート 1 Gb アダプタ	ハーフ
10 Gb NIC		
N2XX-AIPCI01 ³	Intel X520 デュアル ポート 10Gb SFP+ アダプタ	ハーフ
UCSC-PCIE-ITG	Intel X540 デュアル ポート 10GBase-T アダプタ	ハーフ
UCSC-PCIE-QNICBT	QLogic QLE8442 デュアル ポート 10Gbase-T NIC	ハーフ
UCSC-PCIE-QNICSFP	QLogic QLE8442 デュアル ポート 10G SFP+ NIC	ハーフ
UCSC-PCIE-ID10GC	Intel X550-T2 デュアル ポート 10GBASE-T NIC	ハーフ
UCSC-PCIE-ID10GF	Intel X710-DA2 デュアル ポート 10G SFP+ NIC	ハーフ
UCSC-PCIE-IQ10GF	Intel X710 クアッド ポート 10G SFP+ NIC	すべて
25 Gb NIC		
UCSC-PCIE-QD25GF	Qlogic QL41212H デュアル ポート 25G NIC	ハーフ

表 15 使用可能な PCIe オプション カード¹

製品 ID (PID)	PID の説明	カードの高さ
40 Gb NIC		
UCSC-PCIE-ID40GF	Intel XL710 デュアル ポート 40G QSFP+ NIC	ハーフ
10 Gb コンバージド (統合型) ネットワーク アダプタ (CNA)		
UCSC-PCIE-E14102	Emulex OCe14102-UX デュアル ポート 10 GbE FCoE CNA	ハーフ
UCSC-PCIE-Q8362	Qlogic QLE8362 デュアル ポート 10 GbE FCoE CNA	ハーフ
UCSC-PCIE-E14102B	Emulex OCe14102B-UX デュアル ポート 10G SFP+ (iSCSI) 、 FCoE CNA	ハーフ
ホスト バス アダプタ (HBA)		
UCSC-PCIE-BS32GF	Broadcom LPe32000 シングル ポート 32 G FC HBA	ハーフ
UCSC-PCIE-BD32GF	Broadcom LPe32002 デュアル ポート 32 G FC HBA	ハーフ
UCSC-PCIE-QD32GF	Qlogic QLE2742 デュアル ポート 32 G FC HBA	ハーフ
N2XX-AQPCI05	Qlogic QLE2562 デュアル ポート 8 Gb ファイバ チャンネル HBA	ハーフ
UCSC-PCIE-Q2672	Qlogic QLE2672-CSC、 16 Gb ファイバ チャンネル HBA (SR 光ファイバ)	ハーフ
N2XX-AEPCI05	Emulex LPe 12002 デュアル ポート 8 Gb ファイバ チャンネル HBA	ハーフ
UCSC-PCIE-E16002	Emulex LPe16002-M6、 16 Gb ファイバ チャンネル HBA (SR 光ファイバ)	ハーフ
UCS ストレージ アクセラレータ⁴		
UCSC-F-S64002	UCS ラック PCIe ストレージ 6400 GB SanDisk SX350 Medium Endurance	フル
UCSC-F-S32002	UCS ラック PCIe ストレージ 3200 GB SanDisk SX350 Medium Endurance	ハーフ
UCSC-F-S16002	UCS ラック PCIe ストレージ 1600 GB SanDisk SX350 Medium Endurance	ハーフ
UCSC-F-S13002	UCS ラック PCIe ストレージ 1300 GB SanDisk SX350 Medium Endurance	ハーフ
UCS NVMe/PCIe アドイン カード		
UCSC-F-H38001	3.8 TB NVMe/PCIe ストレージ (HGST SN150) 読み出し重視	ハーフ
UCSC-NVME-H64003	Cisco HHHL AIC 6.4T HGST SN260 NVMe Extreme Perf High Endurance	HHHL
UCSC-NVME-H76801	Cisco HHHL 7.7T HGST SN260 NVMe Extreme Perf Value Enderance	HHHL
UCSC-NVME-H32003	Cisco HHHL AIC 3.2T HGST SN260 NVMe Extreme Perf High Endrnc	HHHL

注記のシンプルな

- GPU カード (「[GPU カードを選択する \(オプション\)](#)」 (46 ページ) を参照) が、フル レングス X16 (電気) PCIe スロットに挿入されている必要があります。詳細については、「[ライザ カード設定およびオプション](#)」 (76 ページ) を参照してください。その他の PCIe カードは、ライザ 1 または 2 のどの x8 PCIe スロットにでも挿入できます。
- mLOM カードはライザ 1 またはライザ 2 カード スロットに挿入するのではなく、サーバ シャーシ内部の専用コネクタに挿入します。
- Intel X520 は次のシスコ PID をサポートします : UCS-SFP-1WLR と UCS-SFP-1WSR SFP。サポートされる光ファイバ およびケーブルの一覧については、Intel X520 製品の概要情報を参照してください。
- 最大 6 枚のストレージ アクセラレータ カード (一部はライザに依存) がサポートされます。1.3 TB、2.6 TB、または 3.2 TB カードはスロット 5 または 6 には装着できないため、装着できるカードの合計は 4 になります。Cisco 9300-8e 12G SAS HBA もまた、ライザ 1 に装着する必要があります。Cisco 9300-8e 12G SAS HBA を装着する場合は、ストレージ アクセラレータ カードの 1 つを取り外す必要があります。

注意

- 外部ドライブ コントローラ (Cisco 9300-8e 12G SAS HBA) は、PCIe スロットを 1 つ使用します。
- 最大 6 枚のストレージ アクセラレータ カード (一部はライザに依存) がサポートされます。1.3 TB、2.6 TB、または 3.2 TB カードはスロット 5 または 6 には装着できないため、装着できるカードの合計は 4 になります。
- 1 CPU システムの場合：
 - 1 CPU システムでは、PCIe ライザ 1 の PCIe スロットのみ使用できます。
 - 1 CPU システムではライザ 2 の PCIe スロットはサポートされません。スロットではフル ハイトの PCIe スロット 4、5、6 を使用します (図 3 (6 ページ) を参照)。これらのスロットは、サーバの背面から見ると右側にあります。
 - 1 CPU システムでは 1 枚のプラグイン PCIe VIC カードのみ装着できます。これはライザ 1 のスロット 2 に装着する必要があります。mLOM VIC カードをシャーシ内の mLOM スロットに装着するように選択することも可能です。これにより、2 枚の VIC カードを同時に稼働させることができます。プラグイン カードと mLOM VIC カードの選択については、表 15 (36 ページ) を参照してください。PCIe スロットの物理仕様については、表 1 (8 ページ) と「ライザ カード設定およびオプション」(76 ページ) も参照してください。
- 2 CPU システムの場合：
 - 選択したライザ 1 オプションに応じて、PCIe ライザ 1 で 3 つ (PCIe スロット 1、2、3)、PCIe ライザ 2 で 3 つ (PCIe スロット 4、5、6)、最大 6 つの PCIe スロットを使用できます。
 - スロットはすべてフル ハイトです。
 - スロット 2 および 5 を使用して、2 枚のプラグイン PCIe VIC カードを 2 CPU システムに装着できます。さらに、mLOM VIC カードをシャーシ内の mLOM スロットに装着するように選択することも可能です。これにより、3 枚の VIC カードを同時に稼働させることができます。プラグイン カードと mLOM VIC カードの選択については、表 15 (36 ページ) を参照してください。PCIe スロットの物理仕様については、表 1 (8 ページ) と「ライザ カード設定およびオプション」(76 ページ) も参照してください。
 - GPU がスロット 2 (ライザ 1 オプション A) と 5 (ライザ 2) に装着されている場合は、NCSI 機能がスロット 1 (ライザ 1 オプション A) と 4 (ライザ 2) に自動的に切り替わります。したがって GPU がスロット 2 と 5 に装着されている場合、Cisco PCIe VIC はスロット 1 と 4 に装着できます。



注：UCSM マネージド サーバが正しく検出されるようにするには、VIC 1225 をスロット 2 に装着するか、VIC 1227/1227T を MLOM スロットに装着する必要があります。2 つの GPU を搭載する場合は、スロット 2 と 5 に配置する必要があります。したがって、2 つの GPU が搭載されている場合、VIC 1227/1227T を MLOM スロットに装着した場合にのみ UCSM マネージド サーバが検出されます。

- Cisco VIC 1225/1225T/1227/1227T/1385 カードのその他の考慮事項：
 - VIC 1225 および VIC 1227/1227T は 10G SFP+ 光ファイバおよび銅線 Twinax 接続をサポート
 - VIC 1225T は RJ45 カテゴリ 6 以上のツイストペア ケーブル接続をサポート
 - VIC 1385 は QSFP から SFP への 4 X 10 Gbps ブレイクアウト ファイバ ケーブルをサポート

- 2-CPU バージョンのサーバは 2 枚の PCIe Cisco VIC 1225/1225T/1385 カードをサポートし、PCIe スロット 2 および 5 に装着できます。スロット 2 は UCSM 統合用のプライマリ スロットであり、スロット 2 および 5 は、Cisco NIC カード モード用のプライマリ スロットです。
- このサーバは最大 2 つの PCIe Cisco VIC (1225、1225T、1385) と MLOM VIC (1227、1227T) をサポートします。ただし、UCS Manager (シングル ワイヤ) からの管理は、1 つの VIC でのみサポートされます。サーバに複数の VIC を装着する場合は、1 つのスロットでのみ NCSI が有効になります。シングル ワイヤ管理の場合、NCSI 管理トラフィックには MLOM スロットが優先され、次にスロット 2、スロット 5 の順に使用されます。複数のカードを装着する場合は、上記の優先順位でシングル ワイヤ管理ケーブルを接続します。
- Cisco UCS VIC1225 を装着するには、CIMC ファームウェア バージョン 1.4(6) 以降と、VIC ファームウェアの 2.1(0) 以降がサーバにインストールされている必要があります。Cisco UCS VIC1225T を装着するには、CIMC ファームウェア バージョン 1.5(1) 以降と、VIC ファームウェアの 2.1(1) 以降がサーバにインストールされている必要があります。
- このサーバでは、最大 2 枚のプラグイン Cisco VIC 1225/1225T/1385 カードがサポートされます。カードは特定のスロットのみに装着できます。同時に動作可能な 3 つ目の VIC は mLOM VIC 1227/1227T カードです。このカードはシャーシ内の mLOM 専用スロットに装着します。詳細については、[表 16 \(39 ページ\)](#) を参照してください。
- このセクションで説明した VIC 機能は、ソフトウェア リリース 2.0.6 (CIMC) と 2.2.5a (UCSM) 以降でサポートされています。

表 16 Cisco UCS 240 M4 のプラグイン仮想インターフェイス カードの要件

VIC PID	サーバでサポートされるプラグイン VIC の数	VIC をサポートするスロット ¹	UCS 統合または Cisco Card NIC モード用のプライマリ スロット	必要な Cisco IMC ファームウェア	必要な VIC ファームウェア
Cisco UCS VIC1225 (UCSC-PCIE-CSC-02)	2	PCIe 2 PCIe 1	ライザ 1 : PCIe 2 ライザ 2 : PCIe 5	1.4(6)	2.1(0)
Cisco UCS VIC1225T (UCSC-PCIE-C10T-02)	2	PCIe 5 PCIe 4	脚注を参照	1.5(1)	2.1(1)
Cisco UCS VIC 1385 ³ (UCSC-PCIE-C40Q-03)	2	脚注 ² を参照		2.0(2)	2.2(16)

注記のシンプルなもの

1. ライザ PID UCSC-PCI-1B-240M4 (ライザ 1 オプション B) の場合のみ : VIC を装着できるのはスロット 2 だけです。
2. ライザ PID UCSC-PCI-1A-240M4 (ライザ 1 オプション A) の場合のみ : GPU カードがライザ 1 オプション A のスロット 2 にある場合、NCSI のサポートは自動的にスロット 1 に移り、スロット 1 が VIC のプライマリ スロットになります。GPU カードがライザ 2 のスロット 5 にある場合、NCSI のサポートは自動的にスロット 4 に移り、スロット 4 が VIC のプライマリ スロットになります。UCSM マネージド サーバが正しく検出されるようにするには、VIC 1225 をスロット 2 に装着するか、VIC 1227/1227T を MLOM スロットに装着する必要があります。2 つの GPU を搭載する場合は、スロット 2 と 5 に配置する必要があります。したがって、2 つの GPU が搭載されている場合、VIC 1227/1227T を MLOM スロットに装着した場合にのみ UCSM 管理としてサーバが検出されます。
3. Cisco UCS VIC 1385 と別の VIC を装着する場合、VIC 1385 をプライマリ VIC スロット (ライザ 1 オプション A スロット 2 やライザ 2 スロット 5 などの x16 スロット) に装着する必要があります。ライザ 1 オプション B を装着する場合、スロット 2 は x8 スロットであるため VIC 1385 をスロット 5 に装着する必要があります。

- 搭載できる PCIe カードの数とタイプは、ライザ カード オプションによって異なります。詳細については、「[ライザ カード設定およびオプション](#)」 (76 ページ) を参照してください。
- 選択したカードにオペレーティング システムが対応しているかどうか、またシスコ価格表に記載されていない追加カードが UCS C240 M4 サーバに対応するかどうかを確認するには、次の URL のハードウェア互換性リストを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10477/prod_technical_reference_list.html

ステップ 10 ネットワーク カードのアクセサリを選択する (オプション)

サーバで使用可能な 2 ポートのネットワーク カードに対して、Twinax 銅ケーブルや SFP 光モジュールを構成できます。

オプションの Twinax ケーブルの選択

表 17 に、PCIe カードで使用可能な銅線 Twinax ケーブルを示します。ケーブルの長さは 1、3、5、7、または 10 m の中から選択できます。このうち 7 m と 10 m の 2 つのケーブルはアクティブ ケーブルであり、信号品質の向上のために SFP+ のアクティブ コンポーネントが搭載されています。

表 17 使用可能な Twinax ケーブル

製品 ID (PID)	PID の説明
SFP-H10GB-CU1M	10GBASE-CU SFP+ ケーブル (1 m)
SFP-H10GB-CU3M	10GBASE-CU SFP+ ケーブル (3 m)
SFP-H10GB-CU5M	10GBASE-CU SFP+ ケーブル (5 m)

動作確認済みの構成

(1) ネットワーク カードごとに最大 2 本の Twinax ケーブルを選択

- 選択した互換 PCIe ネットワーク カードごとに、1 本または 2 本の Twinax ケーブルを選択できます。ケーブルの長さは任意に選択できますが、通常は、同じ長さのケーブルを 2 本使用して、プライマリおよび冗長構成のネットワーク スイッチング機器に接続します。

オプションの SFP モジュールの選択

表 18 に、シスコの SFP+ 光モジュールを示します。

表 18 使用可能な SFP モジュール

製品 ID (PID)	PID の説明
SFP-10G-SR	10GBase-SR SFP+ モジュール 850 nm、マルチモード、SR、3.3 V、LC コネクタ、デジタル オプティカル モニタリング
SFP-10G-LR	10GBase-LR SFP+ モジュール 1310 nm、シングル モード、LR、3.3 V、デジタル オプティカル モニタリング
DS-SFP-FC8G-SW	8 Gbit SFP+ Module 850 nm、マルチモード、SR、3.3 V、LC コネクタ、デジタル オプティカル モニタリング



注：Intel X520 NIC は次のシスコ PID をサポートします：UCS-SFP-1WLR と UCS-SFP-1WSR SFP。サポートされる光ファイバおよびケーブルの一覧については、Intel X520 製品の概要情報を参照してください。

動作確認済みの構成

(1) ネットワーク カードごとに最大 2 つの SFP+ モジュールを選択

- 選択した互換 PCIe ネットワーク カードごとに、1 つまたは 2 つの SFP+ 光モジュールを選択できます。通常は 2 つのモジュールを使用して、プライマリおよび冗長構成のネットワーク スイッチング機器に接続します。SFP+ 光モジュールでは、広く普及している一般的な光ファイバ ケーブルを使用できます。

ネットワーク カードへの SFP+ および Twinax の一般的な接続については、[図 6 \(36 ページ\)](#) を参照してください。

注意

PCIe ネットワーク カードと SFP または Twinax ケーブルとの互換性については、次の表を確認してください。



注：この表では、C シリーズ サーバに対応する PCIe ネットワーク カードを示しています。表に示すカードには、このサーバでサポートされていないものも含まれています。この表は、カードと Twinax ケーブルまたは SFP との互換性を示すことを意図したものです。

表 19 PCIe カードの互換性

PCIe カード	Twinax ケーブル	Cisco SFP モジュール		
		SFP-10G-SR	SFP-10G-LR	DS-SFP-FC8G-SW
統合型ネットワーク アダプタ (CNA)				
UCSC-PCIE-BSFP (Broadcom 57712 デュアルポート 10 Gb SFP+ w/TOE iSCSI)	対応	対応	対応	
UCSC-PCIE-CSC-02 (Cisco VIC 1225 デュアルポート 10 Gb SFP+ CNA)	対応	対応	対応	対応
UCSC-PCIE-C10T-02 (Cisco VIC 1225T デュアルポート 10GBaseT CNA)	非対応	非対応	非対応	非対応
UCSC-MLOM-CSC-02 (Cisco UCS VIC1227 VIC MLOM デュアルポート 10 Gb SFP+)	対応	対応	対応	非対応
UCSC-MLOM-C10T-02 (Cisco UCS VIC1227T VIC MLOM - デュアルポ ート 10GBaseT)	非対応	非対応	非対応	非対応
UCSC-PCIE-C40Q-02 (Cisco VIC 1285 デュアルポート 40 Gb QSFP CNA)	対応	非対応 ¹	非対応	
UCSC-PCIE-C40Q-03 (Cisco VIC 1385 デュアルポート 40 Gb QSFP+ CNA w/RDMA)	対応	非対応 ¹	非対応	
UCSC-PCIE-ESFP (Emulex OCe11102-FX デュアルポート 10 GbE FCoE CNA (Gen 3 CNA))	対応	対応	非対応	
UCSC-PCIE-QSFP (QLogic QLE8242-CU デュアルポート 10 GbE FCoE CNA)	対応	Qlogic SFP を使用		
UCSC-PCIE-B3SFP (Broadcom 57810 10 Gb A-FEX SFP+)	対応	対応	非対応	
UCSC-PCIE-Q8362 (Qlogic QLE8362 デュアルポート 10 GbE FCoE CNA)	対応	Qlogic SFP を使用		
UCSC-PCIE-E14102 (Emulex OCe14102-UX デュアルポート 10 GbE FCoE CNA)	対応	対応	非対応	
ネットワーク インターフェイス カード (NIC)				
N2XX-ABPCI01-M3 (M3 サーバ向け Broadcom 5709 デュアルポート イーサネット PCIe アダプタ)	RJ45 イーサネット ケーブルを使用			
N2XX-ABPCI03-M3 (M3 サーバ用 Broadcom 5709 クアッドポート 10/100/1 Gb NIC w/ TOE iSCSI)	RJ45 イーサネット ケーブルを使用			
N2XX-AIPCI01 (Intel X520 デュアルポート 10 Gb SFP+ アダプタ)	対応	Intel SFP を使用 UCS-SFP-1WLR または UCS-SFP-1WSR		
UCSC-PCIE-ITG (Intel X540 デュアルポート 10GBase-T アダプタ)	RJ45 イーサネット ケーブルを使用			
UCSC-PCIE-IRJ45 (Intel i350 クアッドポート 1 Gb アダプタ)	RJ45 イーサネット ケーブルを使用			

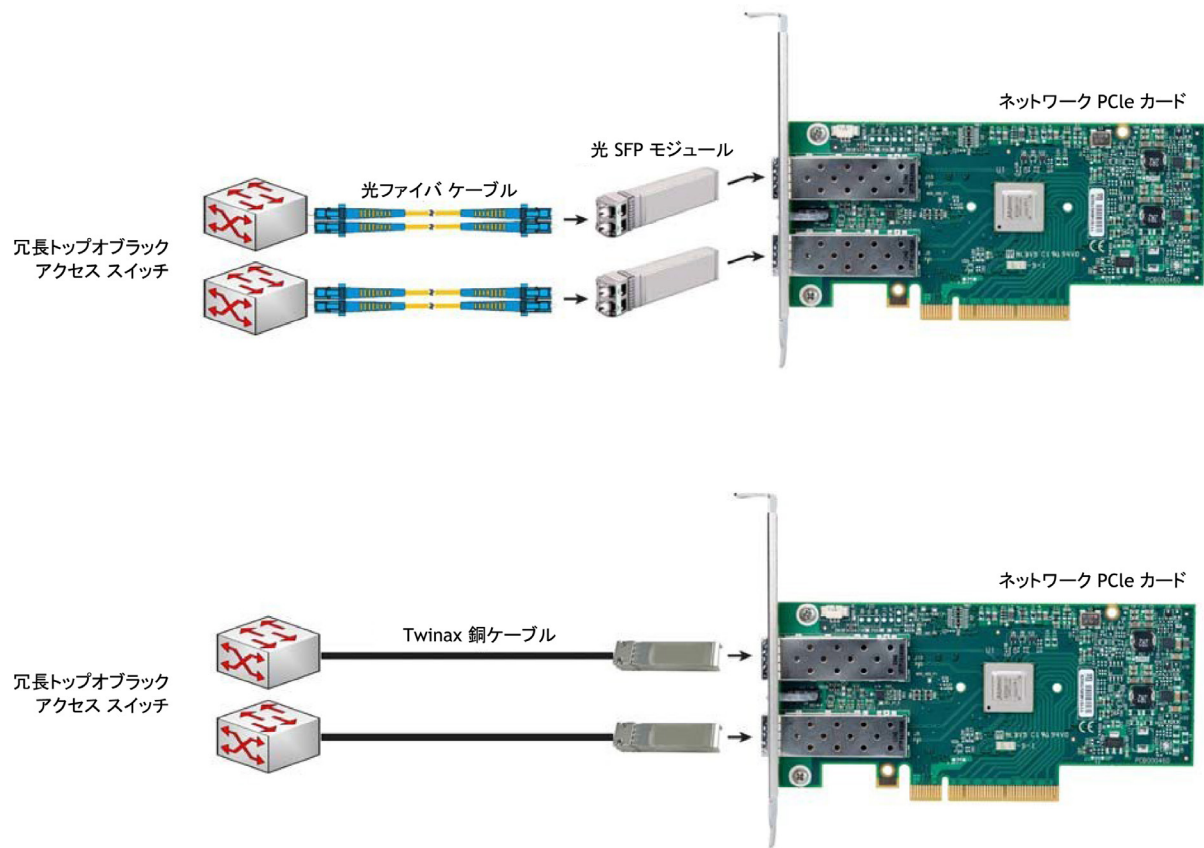
表 19 PCIe カードの互換性 (続き)

PCIe カード	Twinax ケーブル	Cisco SFP モジュール		
		SFP-10G-SR	SFP-10G-LR	DS-SFP-FC8G-SW
UCSC-PCIE-BTG (Broadcom 57712 デュアル ポート 10GBASE-T w/TOE iSCSI)	対応	非対応	非対応	
ホスト バス アダプタ (HBA)				
N2XX-AEPCI03 (Emulex LPe 11002 デュアル ポート 4 Gb ファイバ チャンネル HBA)	非対応	事前インストール済み - SFP を変更しないでください		
N2XX-AEPCI05 (Emulex LPe 12002 デュアル ポート 8 Gb ファイバ チャンネル HBA)	非対応	事前インストール済み - SFP を変更しないでください		
N2XX-AQPCI03 (Qlogic QLE2462 デュアル ポート 4 Gb ファイバ チャンネル HBA)	非対応	事前インストール済み - SFP を変更しないでください		
N2XX-AQPCI05 (Qlogic QLE2562 デュアル ポート 8 Gb ファイバ チャンネル HBA)	非対応	事前インストール済み - SFP を変更しないでください		
UCSC-PCIE-Q2672 (Qlogic QLE2672-CSC、16 Gb ファイバ チャンネル HBA (SR 光ファイバ))	非対応	事前インストール済み - SFP を変更しないでください		
UCSC-PCIE-E16002 (Emulex LPe16002-M6、16 Gb ファイバ チャンネル HBA (SR 光ファイバ))	非対応	事前インストール済み - SFP を変更しないでください		

注記のシンプルな

- このカードは、QSFP から SFP への 4 X 10 Gbps ブレイクアウト ファイバ ケーブルをサポートします。

図 6 ネットワーク カードの接続



ステップ 11 GPU カードを構成する (オプション)

GPU オプションを選択する

使用可能な GPU PCIe オプションを [表 20](#) に示します。

表 20 使用可能な PCIe オプション カード

製品 ID (PID)	PID の説明	カード サイズ
GPU PCIe カード		
UCSC-GPU-P100-16G	NVIDIA P100 16 GB	フルハイト、ダブル幅
UCSC-GPU-P100-12G	NVIDIA P100 12GB	フルハイト、ダブル幅
UCSC-GPU-7150X2	AMD Firepro 7150X2	フルハイト、ダブル幅
UCSC-GPU-M60 ¹	NVIDIA Tesla M60	フルハイト、ダブル幅
UCSC-GPU-K80 ¹	NVIDIA K80	フルハイト、ダブル幅
UCSC-GPU-M10 ²	NVIDIA M10	フルハイト、ダブル幅

注記のシンプルな

- この GPU (UCS-300WKIT-240M4) と一緒にキットを選択する必要があります。これは UCS C240 M4 ラック サーバ用の 300 ワット ケーブル、HS およびキット システムです。1 つまたは 2 つの GPU に対して必要なキットは 1 つのみです。
- M10 には電源ケーブルが含まれていません。M10 を構成する場合は、GPU 用の電源ケーブル (UCSC-GPUCBL-240M4=) を購入する必要があります。



注意： GPU カードを装着していない場合は、300 W GPU キットを装着した C240 M4 サーバを稼働させないでください。このキットは、少なくとも 1 枚の GPU カードを装着した状態で、冷却のための十分なエアフローが供給されるように設計されています。



注意： GPU カードを使用する場合の動作温度範囲は 0° ~ 35°C (32° ~ 95°F) です。



注： すべての GPU カードは、サーバ内に 2 つの CPU と少なくとも 2 台の電源ユニットを必要とし、1400 W 電源ユニットが推奨されます。選択したオプション (CPU、ドライブ、メモリなど) に応じて必要な電力を計算するには、次のリンクにある電力計算ツールを使用してください。

<http://ucspowercalc.cisco.com> [英語]

GPU 電源ケーブルを選択する

このサーバ用に K1/K2/K40 または AMD GPU を選択する場合は、GPU ごとに 1 本の電源ケーブルを選択する必要があります。利用可能な GPU 電源ケーブルを [表 21](#) に示します。

表 21 利用可能な GPU 電源ケーブル

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-GPUCBL-240M4	C240 M4 GPU 電源ケーブル
UCS-300WK-240AMD	UCS C240 M4 ラック サーバ用 300 ワット AMD ケーブルおよびキット

このサーバ用に K80 GPU を選択する場合は、1 つの電源ケーブル キットを選択する必要があります (2 K80 GPU 構成も同様)。利用可能な GPU 電源ケーブルを [表 22](#) に示します。

表 22 利用可能な GPU 電源ケーブル (K80 および M60 のみ)

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-300WKIT-240M4	UCS C240 M4 ラック サーバ用 300 ワット ケーブル、HS およびキット

注意

- NVIDIA GPU は、合計メモリ 1 TB 未満のサーバのみサポートします。このサーバで NVIDIA GPU カードを使用する場合は、14 個を超える 64 GB DIMM を装着しないでください。この制限は、Pascal シリーズ GPU (P100) には適用されません。
- NVIDIA GRID K1 と K2 GPU は混在できます。その他の GPU を混在することはできません。
- K80 GPU を選択する場合は、次のことに注意してください。
 - K80、M60 はそれぞれ同じ GPU とのみ搭載できます。モデルの混在させることはできません。
 - このサーバでは 2 つの CPU を選択する必要があります。
- 1 番目の GPU では、ライザ カード 2 のスロット 5 が必須スロットになります。
- 2 番目の GPU では、ライザ カード 1 のスロット 2 がセカンダリ スロットになります。GPU と互換性があるライザ カード 1 のオプションは次のとおりです。
 - ライザ カード 1 オプション A (UCSC-PCI-1A-240M4)



注：UCSM マネージド サーバが正しく検出されるようにするには、VIC 1225 をスロット 2 に装着するか、VIC 1227/1227T を MLOM スロットに装着する必要があります。2 つの GPU を搭載する場合は、スロット 2 と 5 に配置する必要があります。したがって、2 つの GPU が搭載されている場合、VIC 1227/1227T を MLOM スロットに装着した場合にのみ UCSM マネージド サーバが検出されます。



注：ライザ 1 カードのオプションの詳細については、「[ライザ カード 設定およびオプション \(76 ページ\)](#)」を参照してください。

- 1 ~ 2 台のブート ドライブを選択する場合は、最大 1 つの GPU を選択できます。GPU はライザ 2 (UCSC-PCI-2-C240M4) のスロット 5 に装着する必要があります。



注：マザーボード上の 8 ピン GPU 電源コネクタの位置については、[図 7 \(65 ページ\)](#) を参照してください。必要に応じて、このコネクタから GPU の電源コネクタにケーブルを接続します。



注：マザーボード上の 8 ピン GPU 電源コネクタの位置については、[図 7 \(65 ページ\)](#) を参照してください。必要に応じて、このコネクタから GPU の電源コネクタにケーブルを接続します。

- AMD 7150x2 は、合計搭載メモリ用量 1TB 未満のサーバのみサポートします。

ステップ 12 電源ユニットを選択する

C240 M4 サーバは少なくとも 1 台の電源ユニットを必要とします。負荷の軽いサーバでは、1 ~ 2 台の 650 W 電源ユニットも利用可能です。負荷の高いサーバでは、容量が大きい電源ユニット 2 台が必要になる場合があります。1 つ以上の GPU を使用するサーバでは、2 台以上の電源ユニット (1400 W を推奨) が必要です。選択したオプション (CPU、ドライブ、メモリなど) に応じて必要な電力を計算するには、次のリンクにある電力計算ツールを使用してください。

<http://ucspowercalc.cisco.com> [英語]

表 23 電源ユニット

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-PSU2V2-1400W	2U および 4U C シリーズ用 1400 W V2 AC 電源 (200 ~ 240 V)
UCSC-PSU2V2-1200W ¹	2U C シリーズ サーバ用 1200 W/800 W V2 AC 電源
UCSC-PSU-930WDC	C シリーズ サーバ用 930 W/48V DC 共通スロット電源
UCSC-PSU2V2-930DC	2U C シリーズ サーバ用 930 W/48 V V2 DC 電源
UCSC-PSU2V2-650W	C シリーズ サーバ用 650 W V2 AC 電源

注記のシンプルな

1. 電源出力は 1200 W (入力 200 ~ 240 V の場合)、および 800 W (入力 100 ~ 120 V の場合)。



注：サーバで 2 台の電源ユニットを使用する場合は、両方の電源ユニットが同一仕様である必要があります。

ステップ 13 AC 電源コードを選択する

表 24 から適切な AC 電源コードを選択します。電源コードは最大 2 本選択できます（省略可）。オプションの R2XX-DMYMPWRCORD を選択した場合、出荷されるサーバに電源コードは含まれません。

表 24 使用可能な電源コード

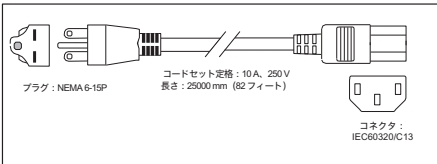
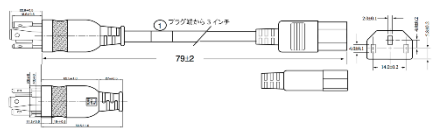
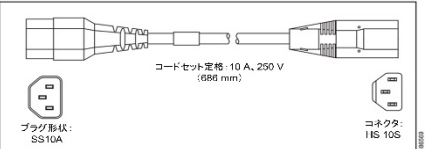
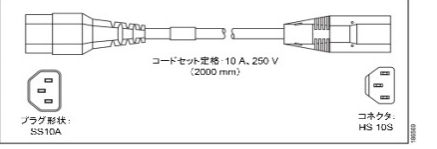
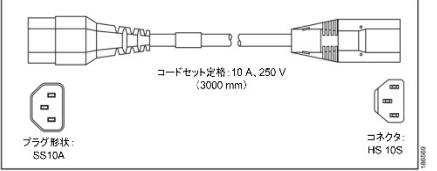
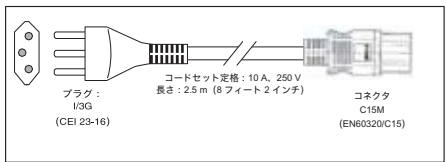
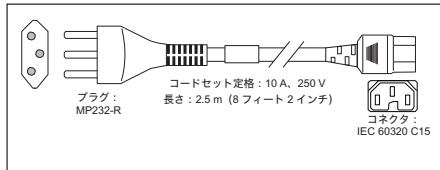

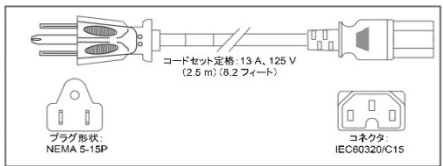
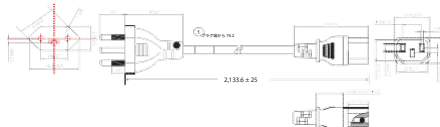
製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
R2XX-DMYMPWRCORD	電源コードなし（電源コードを選択しない場合の型番）	該当なし
CAB-N5K6A-NA	電源コード、200/240 V 6 A（北米仕様）	
CAB-AC-L620-C13	AC 電源コード、NEMA L6-20 - C13、2 m/6.5 フィート	
CAB-C13-CBN	CABASY、ワイヤ、ジャンパコード、27 インチ L、C13/C14、10 A/250 V	
CAB-C13-C14-2M	CABASY、ワイヤ、ジャンパコード、PWR、2 m、C13/C14、10 A/250 V	
CAB-C13-C14-AC	コード、PWR、JMP、IEC60320/C14、IEC6 0320/C13、3.0M	

表 24 使用可能な電源コード

製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
CAB-250V-10A-AR	電源コード、250 V、10 A (アルゼンチン)	<p>プラグ： EL 219 (IRAM 2073)</p> <p>コードセット定格：10 A、250 V/500 V 最大長：2500 mm (8.2 フィート)</p> <p>コネクタ： EL 701 (IEC60320/C13)</p>
CAB-9K10A-AU	電源コード、250 VAC 10 A 3112 プラグ (オーストラリア)	<p>プラグ： EL 210 (BS 1363A) 13 アンペアヒューズ</p> <p>コードセット定格：10 A、250 V/500 V 最大長：2500 mm</p> <p>コネクタ： EL 701C (EN 60320/C15)</p>
CAB-250V-10A-CN	電源コード、SFS、250 V、10 A (中国)	<p>プラグ： EL 218 (CCEE GB2009)</p> <p>コードセット定格：10 A、250 V (2500 mm)</p> <p>コネクタ： EL 701 (IEC60320/C13)</p>
CAB-250V-10A-CN	電源コード、250 V、10 A (中国)	<p>プラグ： EL 218 (CCEE GB2009)</p> <p>コードセット定格：10 A、250 V (2500 mm)</p> <p>コネクタ： EL 701 (IEC60320/C13)</p>
CAB-9K10A-EU	電源コード、250 VAC 10 A CEE 7 / 7 プラグ (EU)	<p>プラグ： M2511</p> <p>コードセット定格：10 A/16 A、250 V 長さ：2.5 m (8 フィート 2 インチ)</p> <p>コネクタ： VSCC15</p>
CAB-250V-10A-ID	電源コード、SFS、250 V、10 A (インド)	<p>プラグ： EL 208</p> <p>コードセット定格：16A、250 V (2500 mm)</p> <p>コネクタ： EL 701</p>
CAB-250V-10A-IS	電源コード、SFS、250 V、10 A (イスラエル)	<p>プラグ： EL 212 (SI-32)</p> <p>コードセット定格：最大 10 A、 250/500 V (2500 mm)</p> <p>コネクタ： EL 701B (IEC60320/C13)</p>

表 24 使用可能な電源コード

製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
CAB-9K10A-IT	電源コード、250 VAC 10 A CEI 23-16/VII プラグ (イタリア)	 <p>コードセット定格: 10 A, 250 V 長さ: 2.5 m (8 フィート 2 インチ)</p> <p>プラグ: I/3G (CEI 23-16)</p> <p>コネクタ: C15M (EN60320/C15)</p>
CAB-9K10A-SW	電源コード、250 VAC 10 A MP232 プラグ (スイス)	 <p>コードセット定格: 10 A, 250 V 長さ: 2.5 m (8 フィート 2 インチ)</p> <p>プラグ: MP232-R</p> <p>コネクタ: C15 (IEC 60320 C15)</p>
CAB-9K10A-UK	電源コード、250 VAC 10 A BS1363 プラグ (13 A ヒューズ) (英国)	 <p>コードセット定格: 10 A, 250 V/500 V 最大長: 2500 mm</p> <p>プラグ: EL 210 (BS 1363A) 13 アンペア ヒューズ</p> <p>コネクタ: EL 701C (EN 60320/C15)</p>
CAB-9K12A-NA	電源コード、125 VAC 13 A NEMA 5-15 プラグ (北米)	 <p>コードセット定格: 13 A, 125 V (2.5 m) (8.2 フィート)</p> <p>プラグ形状: NEMA 5-15P</p> <p>コネクタ: C15 (IEC60320/C15)</p>
CAB-250V-10A-BR	電源コード、250 V、10 A (ブラジル)	 <p>2.133 ± 25</p>
CAB-48DC-40A-8AWG	C シリーズ -48 VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8 AWG、40 A	図なし
CAB-C19-C20-3M-JP	電源コード C19-C20、3 m/10 フィート、日本 PSE マーク	図なし

ステップ 14 工具不要レール キットとオプションのリバーシブルなケーブル管理アームを選択する

工具不要レール キットを選択する

表 25 から工具不要レール キットを選択します。

表 25 工具不要レール キットのオプション

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-RAILB-M4	C220 M4 および C240 M4 ラック サーバ用ボール ベアリング レール キット

オプションのリバーシブル ケーブル マネージメント アーム (CMA) を選択する

ケーブル マネージメント アームは、サーバ背面の右または左のスライド レールのどちらかに取り付けて、ケーブルの整理に使用します。表 26 を使用して、ケーブル マネジメント アームを選択します。

表 26 ケーブル マネジメント アーム

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-CMA-M4	C240 M4 ツールレス ボール ベアリング レール キット用のリバーシブル CMA

工具不要レール キットとケーブルマネジメントアームの詳細については、次の URL の *Cisco UCS C240 M4 インストールガイド* および *サービス ガイド* [英語] を参照してください。

http://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C240M4/install/C240M4.html



注：UCS C240 M4 サーバをラックにマウントする場合は、工具不要レールキットを選択する必要があります。

ステップ 15 NIC モードを選択する (オプション)

C240 M4 サーバの NIC モードは、デフォルトで「Shared LOM Extended」に設定されます。この NIC モードでは、Cisco Integrated Management Controller (CIMC) へのアクセスに、任意の LOM ポートまたはアダプタ カード ポートを使用できます。Cisco VIC カードは、NCSI をサポートするスロットに装着する必要があります。

デフォルトの NIC モードを Dedicated に変更するには、[表 27](#) に示す UCSC-DLOM-01 PID を選択します。「Dedicated」モードでは、専用の管理ポートを介してのみ CIMC にアクセスできます。管理ポートの位置については、「[シャーシ背面図](#)」 ([6 ページ](#)) を参照してください。

デフォルトの NIC モードを Cisco Card モードに変更するには、[表 27](#) に示す UCSC-CCARD-01 PID を選択します。このモードでは、DHCP を使用して CIMC に IP アドレスを割り当てます。それ以降の導入作業は自動化されます。

すべての NIC モード設定の詳細については、次を参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/c/sw/gui/config/guide/2-0/b_Cisco_UCS_C-series_GUI_Configuration_Guide_201.pdf [英語]

表 27 Dedicated NIC モードの選択情報

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSC-DLOM-01	C シリーズ サーバ用 Dedicated モード BIOS 設定
UCSC-CCARD-01	C シリーズ サーバ用 Cisco Card モード BIOS 設定

ステップ 16 トラステッド プラットフォーム モジュールを選択する (オプション)

トラステッド プラットフォーム モジュール (TPM) は、プラットフォーム (サーバ) の認証に使用される情報を安全に格納できるコンピュータ チップ (マイクロコントローラ) です。この情報には、パスワード、証明書、暗号キーなどがあります。TPM は、プラットフォームの信頼性維持の確保に役立つプラットフォームデータ値の格納にも使用できます。認証 (プラットフォームが主張どおりの存在であることを証明できることを確認) と証明 (プラットフォームが信頼できる存在であり、違反のないことの証明に役立つプロセス) は、あらゆる環境でより安全なコンピューティングを保証するのに必要な方法となります。

表 28 に、TPM の構成情報を示します。

表 28 信頼されたプラットフォーム モジュール

製品 ID (PID)	PID の説明
UCSX-TPM2-001	UCS サーバ用トラステッド プラットフォーム モジュール 1.2 SPI ベース
UCSX-TPM2-002	UCS サーバ用トラステッド プラットフォーム モジュール 2.0



注: このシステムで使用される TPM モジュールは、トラステッド コンピューティング グループ (TCG) で定義されている TPM v1.2/2.0 に準拠しています。このモジュールも SPI ベースです。



注: TPM の取り付けは、工場出荷後でも可能です。ただし、TPM は一方向ネジで取り付けられるため、交換、アップグレード、あるいは別のサーバに取り付けたりすることはできません。TPM を取り付けたいサーバを交換する場合は、交換用サーバを新しい TPM とともに構成する必要があります。サーバに既存の TPM がない場合、TPM 2.0 を取り付けることができます。まず、Intel E5-2600 v4 CPU をサポートする UCS ファームウェア、Cisco UCS Manager リリース 2.2(7) 以降または 3.1(1) 以降にアップグレードする必要があります (CPU で TPM 2.0 をサポートする方法を統一したため)。



注意: Cisco UCS サーバ (Intel E5-2600 v4 または v3 の CPU) は、Intel E5-2600 v4 CPU のサポートを追加した UCS ファームウェアを実行している場合、TPM バージョン 2.0 で機能します。ただし、ファームウェアと BIOS をリリース 2.2(7) より前またはリリース 3.1(1) より前のバージョンにダウングレードした場合、潜在的なセキュリティ リスクに対して脆弱性があります。TPM のバージョンについては、次のサポート マトリックスを参照してください。

表 29 Intel CPU のバージョンによる TPM サポートの表

Intel CPU	TPM のバージョン	最小 UCS Manager (UCSM) バージョン
Intel E5-2600 v3	TPM 1.2	リリース 2.2(3)
	TPM 2.0	リリース 2.2(7) またはリリース 3.1(1)
Intel E5-2600 v4	TPM 1.2	リリース 2.2(7) またはリリース 3.1(1)
	TPM 2.0	リリース 2.2(7) またはリリース 3.1(1)

ステップ 17 Cisco Flexible Flash SD カード モジュールを選択する (オプション)

128、64、または 32 GB SD カードを選択します。SD カードの位置については、[図 7 \(65 ページ\)](#)を参照してください。SD1 と SD2 の 2 つの場所を使用できます。

表 30 64 GB セキュア デジタル (SD) カード (空)

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-SD-128G	UCS サーバ用 128 GB SD カード
UCS-SD-64G-S	UCS サーバ用 64 GB SD カード
UCS-SD-32G-S	UCS サーバ用 32 GB SD カード

注意

- 64 または 32 GB の SD カードを 1 つまたは 2 つ装着します。
- サイズの異なる SD カードを混在させることはできません。

ステップ 18 オプションの USB 3.0 ドライブを選択する

オプションで USB 3.0 ドライブを 1 つ選択できます。[表 31](#) に、USB ドライブの選択情報を示します。

表 31 USB 3.0 ドライブ

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-USBFLSHB-16GB	UCS サーバ 16 GB フラッシュ USB ドライブ

USB コネクタの位置については、[図 7 \(65 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 19 オペレーティング システムと付加価値ソフトウェアを選択する

複数のソフトウェア プログラムを使用できます。表 32 から必要に応じて選択します。

表 32 ソフトウェア (2 CPU サーバ用)

PID の説明	製品 ID (PID)
Cisco One	
C1F2PUCSK9	Cisco ONE Foundation Perpetual UCS
C1A1PUCSK9	Cisco ONE Enterprise Cloud Perpetual UCS
C1UCS-OPT-OUT	Cisco One Data Center Compute オプトアウト オプション
エネルギー管理 (JouleX)	
CEM-DC-PER	DC 用 Cisco Energy Management の永久ライセンス キー
UCS Director	
CUIC-PHY-SERV-BM-U	Cisco UCS Director リソース ライセンス - 1 台の物理ノード ペア メタル サーバ
CUIC-PHY-SERV-U	Cisco UCS Director リソース ライセンス - 1 台の物理サーバ ノード
CUIC-TERM	Cisco UCS Director ライセンス条項の同意
Hyper-V および vSphere 向け Nexus 1000V	
N1K-VSG-UCS-BUN	vSphere 向け Nexus 1000V Advanced Edition ペーパー ライセンス (数量 1)
IMC Supervisor	
CIMC-SUP-B10	C/E シリーズ用 IMC Supervisor ブランチ管理 SW、最大 1000 サーバ
CIMC-SUP-B02	C/E シリーズ用 IMC Supervisor ブランチ管理 SW、最大 250 サーバ
UCS Multi-Domain Manager	
UCS-MDMGR-100S	サーバ ライセンスごとの UCS Multi-Domain Manager (中央) (100 以上)
UCS-MDMGR-50S	サーバ ライセンスごとの UCS Multi-Domain Manager (中央) (50 以上)
UCS-MDMGR-1S	サーバ ライセンスごとの UCS Multi-Domain Manager (中央)
UCS-MDMGR-10S	サーバ ライセンスごとの UCS Multi-Domain Manager (中央) (10 以上)
UCS-MDMGR-1DMN	ドメイン ライセンスごとの UCS Multi-Domain Manager (中央)
VMware vCenter	
VMW-VCS-STD-1A	VMware vCenter 6 Server Standard、1 年サポートが必要
VMW-VCS-STD-3A	VMware vCenter 6 Server Standard、3 年サポートが必要
VMW-VCS-STD-5A	VMware vCenter 6 Server Standard、5 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-1A	VMware vCenter 6 Server Foundation (3 ホスト)、1 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-3A	VMware vCenter 6 Server Foundation (3 ホスト)、3 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-5A	VMware vCenter 6 Server Foundation (3 ホスト)、5 年サポートが必要
Microsoft Windows Server	
MSWS-16-ST16C	Windows Server 2016 Standard (16 コア/2 VM)

表 32 ソフトウェア (2 CPU サーバ用) (続き)

PID の説明	製品 ID (PID)
MSWS-16-ST24C	Windows Server 2016 Standard (24 コア/2 VM)
MSWS-16-ST16C-NS	Windows Server 2012 Standard (2 CPU/2 VM) 、Cisco SVC なし
MSWS-16-DC16C	Windows Server 2016 Data Center (16 コア/VM 無制限)
MSWS-19-DC16C	Windows Server 2019 Data Center (16 コア/VM 無制限)
MSWS-19-DC16C-NS	Windows Server 2019 DC (16 コア/VM 無制限) 、Cisco SVC なし
MSWS-19-DC16C-RM	Windows Server 2019 DC (16 コア/VM 無制限) リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-19-DCA2C	Windows Server 2019 Data Center : 2 コア追加
MSWS-19-DCA2C-NS	Windows Server 2019 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-19-ST16C	Windows Server 2019 Standard (16 コア/2 VM)
MSWS-19-ST16C-NS	Windows Server 2019 Standard (16 コア/2 VM) 、Cisco SVC なし
MSWS-19-ST16C-RM	Windows Server 2019 Standard (16 コア/2 VM) 、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-19-STA2C	Windows Server 2019 Standard : 2 コア追加
MSWS-19-STA2C-NS	Windows Server 2019 Standard : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-19-DC16C	Windows Server 2019 Data Center (16 コア/VM 無制限)
MSWS-19-DC16C-NS	Windows Server 2019 DC (16 コア/VM 無制限) 、Cisco SVC なし
MSWS-19-DC16C-RM	Windows Server 2019 DC (16 コア/VM 無制限) リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-19-DCA2C	Windows Server 2019 Data Center : 2 コア追加
MSWS-19-DCA2C-NS	Windows Server 2019 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-19-ST16C	Windows Server 2019 Standard (16 コア/2 VM)
MSWS-19-ST16C-NS	Windows Server 2019 Standard (16 コア/2 VM) 、Cisco SVC なし
MSWS-19-ST16C-RM	Windows Server 2019 Standard (16 コア/2 VM) 、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-19-STA2C	Windows Server 2019 Standard : 2 コア追加
MSWS-19-STA2C-NS	Windows Server 2019 Standard : 2 コア追加、Cisco SVC なし
Red Hat	
RHEL-2S2V-3A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN) 、3 年サポートが必要
RHEL-2S2V-1A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN) 、1 年サポートが必要
VMware	
VMW-VSP-EPL-5A	VMware vSphere 6 Ent Plus (1 CPU) 、5 年サポートが必要
VMW-VSP-STD-1A	VMware vSphere 6 Standard (1 CPU) 、1 年サポートが必要
VMW-VSP-STD-3A	VMware vSphere 6 Standard (1 CPU) 、3 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-3A	VMware vSphere 6 Ent Plus (1 CPU) 、3 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-1A	VMware vSphere 6 Ent Plus (1 CPU) 、1 年サポートが必要
VMW-VSP-STD-5A	VMware vSphere 6 Standard (1 CPU) 、5 年サポートが必要
SLES SAP	
SLES-SAP-2S2V-1S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM) 、優先順位 1 年 SnS

表 32 ソフトウェア (2 CPU サーバ用) (続き)

PID の説明	製品 ID (PID)
SLES-SAP-2SUV-1S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、無制限の VM)、優先順位 1 年 SnS
SLES-SAP-2S2V-3S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 3 年 SnS
SLES-SAP-2SUV-3S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、無制限の VM)、優先順位 3 年 SnS
SLES-SAP-2S2V-5S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 5 年 SnS
SLES-SAP-2SUV-5S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、無制限の VM)、優先順位 5 年 SnS
SLES-SAP-2S2V-5A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、5 年サポートが必要
SLES-SAP-2SUV-3A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、無制限の VM)、3 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-3A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、3 年サポートが必要
SLES-SAP-2SUV-3A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、無制限の VM)、5 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-1A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、1 年サポートが必要
SLES-SAP-2SUV-1A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、無制限の VM)、1 年サポートが必要
SUSE	
SLES-2S2V-1A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、1 年サポートが必要
SLES-2SUV-1A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、1 年サポートが必要
SLES-2S2V-3A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、3 年サポートが必要
SLES-2SUV-3A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、3 年サポートが必要
SLES-2S2V-5A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、5 年サポートが必要
SLES-2SUV-5A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、5 年サポートが必要
SLES-2S2V-1S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 1 年 SnS
SLES-2SUV-1S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、無制限の VM)、優先順位 1 年 SnS
SLES-2S2V-3S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 3 年 SnS
SLES-2SUV-3S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、無制限の VM)、優先順位 3 年 SnS
SLES-2S2V-5S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先順位 5 年 SnS
SLES-2SUV-5S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、無制限の VM)、優先順位 5 年 SnS
SLES-2S-HA-1S	SUSE Linux High Availability Extension (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS
SLES-2S-HA-3S	SUSE Linux High Availability Extension (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS
SLES-2S-HA-5S	SUSE Linux High Availability Extension (1 ~ 2 CPU)、5 年 SnS
SLES-2S-GC-1S	SUSE Linux HA 対応 GEO クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS
SLES-2S-GC-3S	SUSE Linux HA 対応 GEO クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS
SLES-2S-GC-5S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、5 年 SnS

ステップ 20 オペレーティング システム メディア キットを選択する

表 33 からオプションのオペレーティング システム メディアを選択します。

表 33 OS メディア

製品 ID (PID)	PID の説明
MSWS-16-DC16C-RM	Windows Server 2016 Data Center (16 コア/VM 無制限) リカバリ メディア
MSWS-16-DC24C-RM	Windows Server 2016 Data Center (24 コア/VM 無制限) リカバリ メディア

ステップ 21 サポート サービスを選択する

(1) SNTC for UCS 24 時間日本語サポート

UCS のサポート サービスとして、シスコは Smart Net Total Care (SNTC) for UCS を提供します。SNTC for UCS では、各種ハードウェア交換オプションをご用意し、2 時間以内の交換などにも対応しています。（時間内対応の提供可能エリアは、事前に確認ください）。

このサービスでは、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエキスパートによるソフトウェアおよびハードウェアへのサポートを行い、ユニファイド コンピューティング環境におけるパフォーマンスの維持と高可用性の実現へのお手伝いをいたします。

また、シスコの豊富なオンライン テクニカル リソースにもアクセスできます。ユニファイド コンピューティング環境において最大の効率性とアップタイムを実現するためにご活用いただけます。

Cisco UCS の SNTC には、オプションとしての「UCS 24 時間日本語サポート」があり、TAC のエキスパートが、土日夜間を通じ 24 時間体制で Cisco UCS 製品のハードウェアおよびソフトウェアの障害対応を行います。電話やリモートによる技術支援だけでなく、オプションのオンサイト サービスでも、24 時間対応でエンジニアを派遣し、お客様サイトでのパーツ交換を行います。

表 34 SNTC for UCS 24 時間日本語サポート（ドライブ リテンションなし）

サービス SKU	オンサイト	障害切り分け後のパーツ配送時間
CON-SNTPL-<モデル>	非対応	24 X 7 X 4 時間以内対応
CON-C4PL-<モデル>	対応	24 X 7 X 4 時間以内対応

<モデル>の部分には C460M4, B200M4 などのサーバ モデルを表すテキストが入ります。

例：CON-SNTPL-C460M4、CON-C4PL-B200M4

(2) SNTC for UCS 24 時間日本語サポート（ドライブ リテンション）

本サービスは、SNTC for UCS 24 時間日本語サポートに、故障したディスク ドライブの返却がなくても交換用の新しいドライブを提供するオプションを付加したサービスです。お客様は交換用ドライブの受領後に、故障したドライブを当該システムから取り外し、再使用せずに廃棄したことを確認する内容の確認書 (CoD) に署名してご提出いただきます。機密データ、所有権を有するデータを管理する必要がある場合はこちらのサービスを選択してください（このサービスには証明書付きドライブ破壊サービスは含まれません）。

表 35 SNTC for UCS 24 時間日本語サポート（ドライブ リテンションあり）

サービス SKU	オンサイト	障害切り分け後のパーツ配送時間
CON-USD7L-<モデル>	対応	24 X 7 X 4 時間以内対応

<モデル>の部分には C460M4, B200M4 などのサーバ モデルを表すテキストが入ります。

例：CON-USD7L-C460M4、CON-USD7L-B200M4

SNTC には上記の 24 時間日本語サポートの他にも、障害重要度が 2、3、4 の場合は営業時間内で日本語対応する標準の SNTC for UCS や、ハードウェアのみにサポート範囲を限定したサービスもあります。

SNTC for UCS の詳細については、下記を参照ください。

http://www.cisco.com/web/JP/services/portfolio/tss/uc_supportservice.html

(3) サードパーティ製ソフトウェア サポート サービス

Cisco UCS 製品と共に出荷される、シスコの型番で提供する OEM ソフトウェアのサポート サービスです。本サービスでは、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエキスパートへの 24 時間アクセスとソフトウェアへのサポート、ソフトウェア アップデートおよびアップグレードを提供します (Windows の場合はアップグレードではなく、アップデートのみ)。

本サービスは、該当ソフトウェア製品の発注時に、同時に購入いただく必要があります。

表 36 サードパーティ製ソフトウェア サポート サービス

サービス SKU	オンサイト 障害切り分け後のパーツ配送時間
CON - ISV1 - <ソフトウェア製品名>	本サービスはソフトウェア サポートのため、パーツ配送やオンサイト対応はありません。
<ソフトウェア製品名> の部分には、ソフトウェア製品と契約年数を表す数字が入ります。	
例 : CON-ISV1-EL2S2V-3A (Rhel/2 CPU 2VN/3Year)、CON-ISV1-ES2S2V3A (SUSE Linux Enterprise Svr 3Year)	

(4) Solution Support

このサービスでは、複雑なマルチベンダー ソリューションで発生する問題の管理、トラブルシューティング、および迅速な解決のための専門知識を持った専任リソースへのアクセスを優先的に提供します。このサービスは、製品レベルのテクニカル サポートを強化して、次のことを支援します。

- ソリューションにおいて発生する可能性のある問題を迅速に切り分けて解決
- IT およびネットワーク運用のパフォーマンスを向上
- アプリケーションの可用性の向上

現在、以下の Solution Support が提供されています。

- [Solution Support for SAP HANA](#)
- [Solution Support for CI](#)
- [Solution Support for ACI](#)

Solution Support の詳細については、下記を参照ください。

<http://www.cisco.com/web/JP/services/portfolio/solutions-support/index.html>

Cisco UCS サービスとサポートの詳細については、次の URL を参照ください。

http://www.cisco.com/web/JP/services/portfolio/tss/uc_supportservice.html

Cisco UCS のサポートには、この他に、販売パートナー様が独自に行っているサポートがあります。こちらは、お客様から販売パートナーへお問い合わせください。

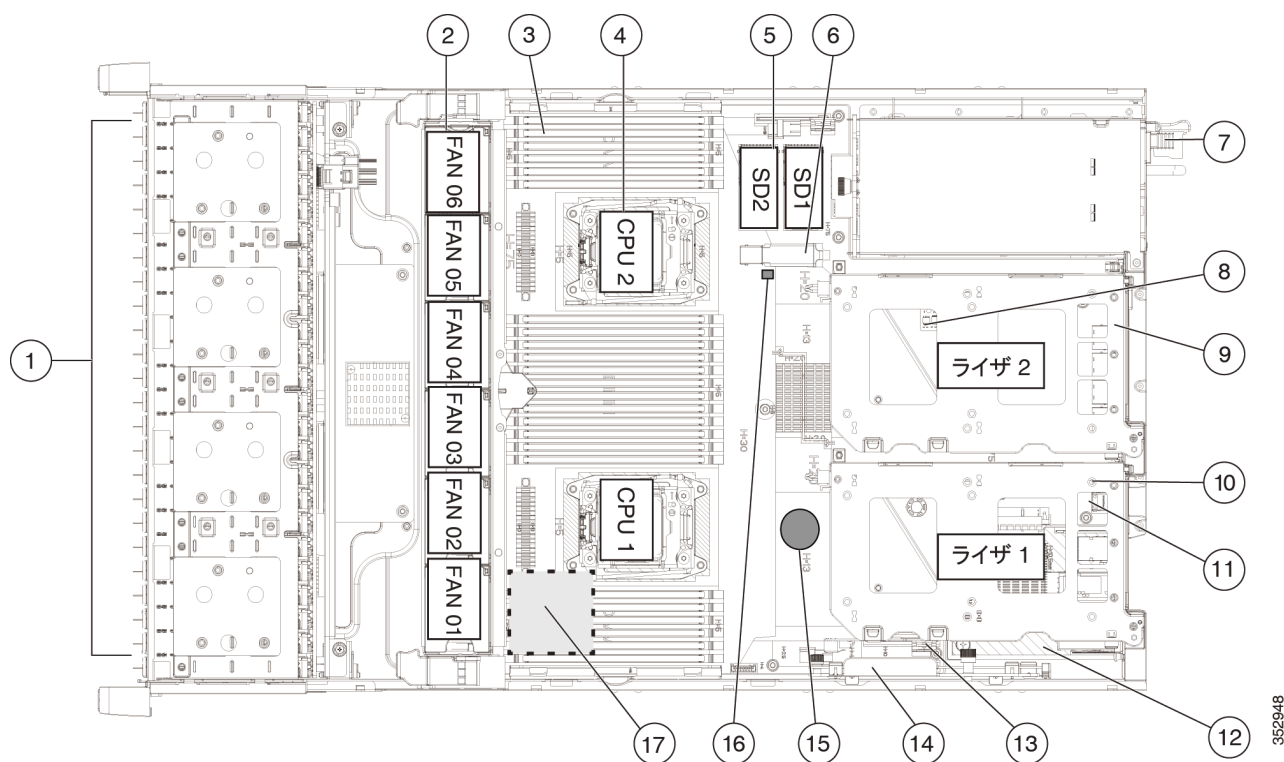
サービス契約なしの場合は、Warranty が適用されます。Warranty の詳細は各販売パートナーにお問い合わせください。

参考資料

シャーシ

図7は、上部カバーを外した状態の C240 M4 シャーシ内部です。

図 7 上部カバーを外した C240 M4 LFF



352948

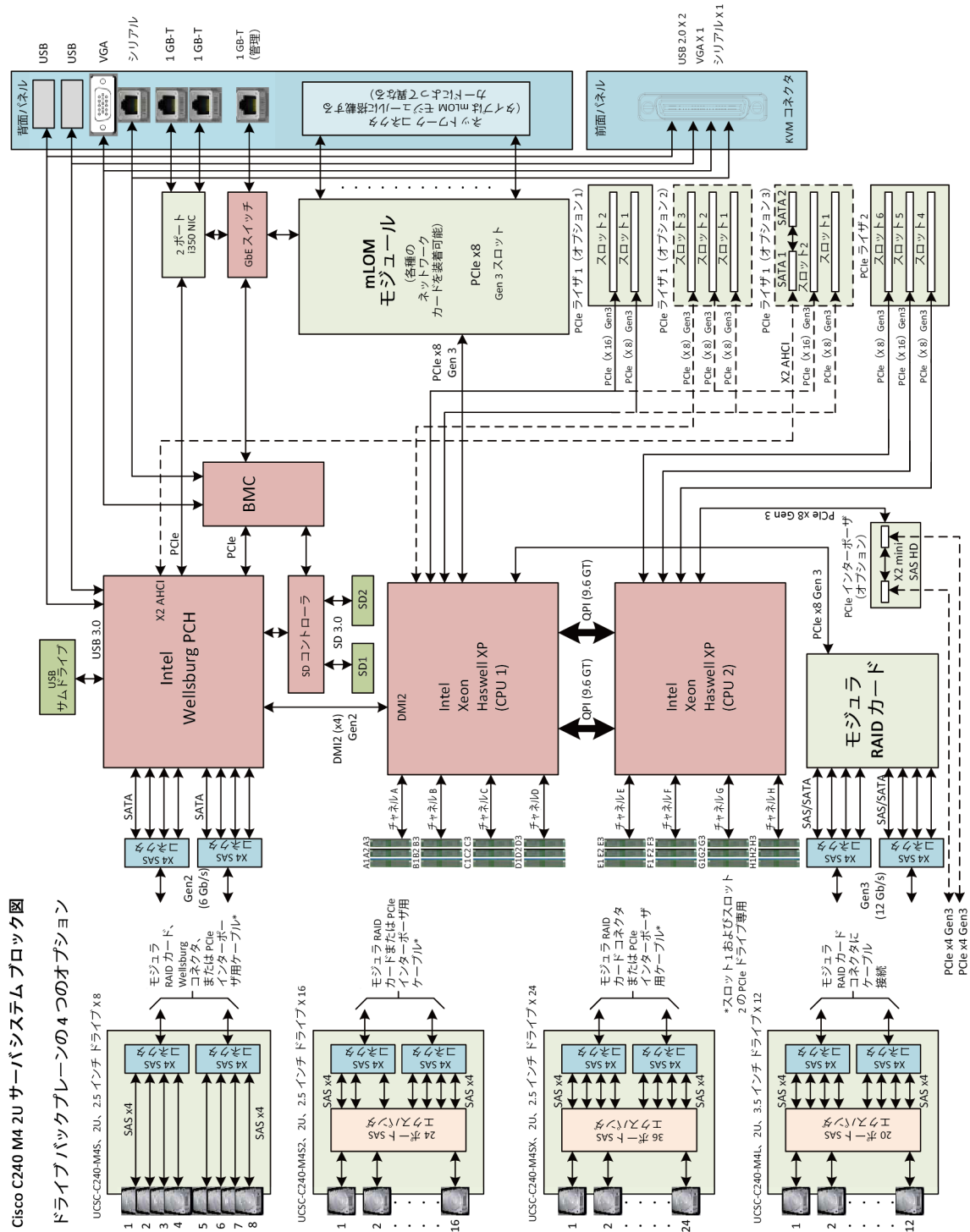
1	ドライブ (ホットスワップ可能、前面パネルから交換)	10	PCIe ライザ 1 (PCIe スロット 1、2、3*) *スロット 3 は一部のバージョンのみ搭載。ライザ オプションとスロットの仕様については、「 ライザ カード設定およびオプション 」(76 ページ) を参照してください。
2	ファン モジュール (6、ホット スワップ可能)	11	SATA ブート ドライブ (PCIe ライザ 1 オプション C でのみ 2 つのソケットが利用可能)
3	マザーボード上の DIMM ソケット (最大 24 の DIMM)	12	マザーボード上の mLOM カード ソケット (PCIe ライザ 1 の下)
4	CPU とヒートシンク (2 セット)	13	組み込み RAID インターポーザ ボード用ソケット (本サーバでは使用しない)
5	マザーボード上の Cisco SD カード スロット (2 個)	14	シスコ モジュラ RAID コントローラの PCIe スロット (専用スロットおよびブラケット)

6	マザーボード上の USB 3.0 スロット	15	マザーボード上の RTC バッテリ
7	電源ユニット (ホットスワップ可能、背面パネルから交換)	16	RAID キー用組み込み RAID ヘッダー (本サーバでは使用しない)
8	マザーボード上の信頼されたプラットフォームモジュール (TPM) ソケット (PCIe ライザ 2 の下)	17	エアー バッフル上の SuperCap 電源モジュール (RAID バックアップ) の取り付け位置 (図に非表示)
9	PCIe ライザ 2 (PCIe スロット 4、5、6)		

ブロック図

C240 M4 サーバの簡略ブロック図を **図8** に示します。

図 8 C240 M4 LFF ブロック図 (簡略)



Cisco C240 M4 2U サーバシステム ブロック図

ドライブバックプレーンの4つのオプション

CPU と DIMM

物理レイアウト

各 CPU に 4 つの DIMM チャンネルがあります。

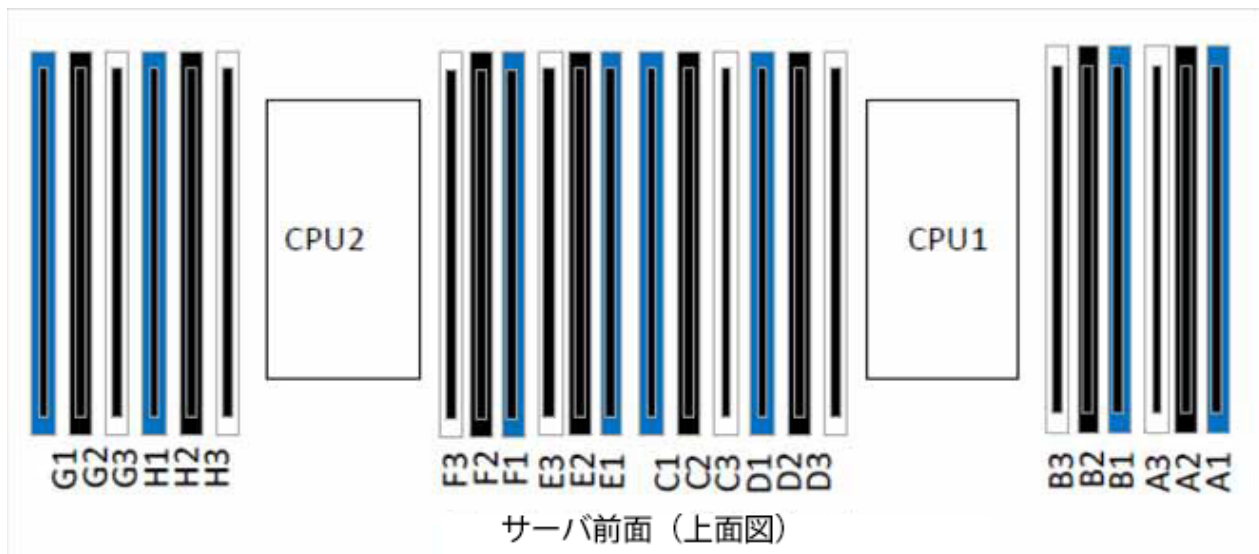
- CPU1 : チャンネル A、B、C、D
- CPU2 : チャンネル E、F、G、H

各 DIMM チャンネルには、スロット 1、スロット 2、スロット 3 の 3 つのスロットがあります。青色 DIMM スロットはスロット 1、黒色スロットはスロット 2、白色スロットはスロット 3 を示します。

たとえば、DIMM スロットの A1、B1、C1、D1 はスロット 1 に属し、A2、B2、C2、D2 はスロット 2 に属します。

図 9 に、マザーボード上のスロットおよびチャンネルの物理的な配置を示します。マザーボードの右半分の DIMM スロット (チャンネル A、B、C、D) は CPU 1 に関連付けられており、マザーボードの左半分の DIMM スロット (チャンネル E、F、G、H) は CPU 2 に関連付けられています。スロット 1 (青) の DIMM スロットは、必ず対応するスロット 2 (黒) とスロット 3 (白) よりも CPU から離れた位置にあります。スロット 1 (青) は、スロット 2 (黒) とスロット 3 (白) よりも先に使用されます。

図 9 CPU DIMM チャンネルおよびスロットの物理レイアウト



メモリ搭載ルール

サーバ上のメモリ構成を検討する際には、以下の事項を考慮してください。

- 各チャンネルには DIMM スロットが 3 つあります (たとえば、チャンネル A = スロット A1、A2、A3)。
 - チャンネルは DIMM が 1、2、または 3 つ装着された状態で動作できます。
 - チャンネルの DIMM が 1 つだけの場合は、スロット 1 に装着します (青色のスロット)。
- 両方の CPU が取り付けられている場合、各 CPU の DIMM スロットへの装着方法を同一にします。
 - 最初にチャンネルの青色スロットから装着します : A1、E1、B1、F1、C1、G1、D1、H1
 - 次にチャンネルの黒色スロットに装着します : A2、E2、B2、F2、C2、G2、D2、H2
 - 最後にチャンネルの白色スロットに装着します : A3、E3、B3、F3、C3、G3、D3、H3
- CPU が取り付けられていない DIMM ソケットでは、DIMM を装着しても認識されません。
- [表 37](#) に示す DIMM 混在ルールに従ってください。

表 37 C240 M4 サーバの DIMM ルール

DIMM パラメータ	同じチャンネル内の DIMM	同じスロットの DIMM ¹
<u>DIMM 容量</u>		
RDIMM = 8、16、または 32 GB LRDIMM = 32 または 64 GB TSV-RDIMM = 64 GB	同じチャンネル内の DIMM (A1、A2、A3 など) の容量を同じにする必要はありません。 TSV-RDIMM を LRDIMM や RDIMM と混在させないでください。	最適なパフォーマンスを得るためには、同じスロット内の DIMM (A1、B1、C1、D1 など) の容量を同じにする必要があります。 TSV-RDIMM を LRDIMM や RDIMM と混在させないでください。
<u>DIMM 速度</u>		
2400-MHz 2133-MHz	DIMM は取り付けられた CPU の最低速度で動作します。	DIMM は取り付けられた CPU の最低速度で動作します。
<u>DIMM タイプ</u>		
TSV-RDIMMS、RDIMM、または LRDIMM	同じチャンネル内で DIMM タイプを混在させないでください。	同じスロット内で DIMM タイプを混在させないでください。
チャンネルあたりの DIMM 数 (DPC)	1 DPC、2 DPC、または 3 DPC 有効な LRDIMM および RDIMM 1 DPC、2 DPC、3 DPC メモリ構成については、 表 8 (21 ページ) を参照してください。	

注記のシンプルな

1. 同じスロット内に異なる DIMM 容量を存在させることはできますが、最適なパフォーマンスより低くなる可能性があります。最適なパフォーマンスを得るためには、同じスロット内のすべての DIMM を同じにする必要があります。

DIMM 装着順序

表 38 に従って各 CPU の DIMM を装着します。

表 38 CPU ごとの DIMM 装着手順

CPU あたりの	CPU 1 のスロットへの装着	CPU 2 のスロットへの装着
1	A1	E1
2	A1、B1	E1、F1
3	A1、B1、C1	E1、F1、G1
4	A1、B1、C1、D1	E1、F1、G1、H1
8	A1、B1、C1、D1、 A2、B2、C2、D2	E1、F1、G1、H1、 E2、F2、G2、H2
12	A1、B1、C1、D1、 A2、B2、C2、D2、 A3、B3、C3、D3	E1、F1、G1、H1、 E2、F2、G2、H2 E3、F3、G3、H3

推奨メモリ構成

ここでは、C240 M4 サーバに推奨されている DIMM 装着順序ルールについて説明します。

- すべての DIMM を DDR4 DIMM にする必要があります。
- 以下を混在させないでください。
 - 同じチャンネル内のクロック レートが異なる DIMM
 - RDIMM と LRDIMM
- 青色、黒色、および白色の DIMM スロットがあります。最初に青色スロットに装着します。
- 同じチャンネル内で DIMM ランクが混在している場合は、最も高いランクの DIMM を青色の DIMM スロットに装着し、それより低いランクの DIMM を黒色と白色の DIMM スロットに装着します。

さまざまなメモリ構成を使用できます。最良の結果を得るには、Intel Xeon E5-2600 v3 CPU に 2133 MHz の DIMM を装着する場合は表 39 に従い、Intel Xeon E5-2600 v4 CPU に 2400 MHz DIMM を装着する場合は表 40 に従います。



注：以下の各表には、推奨および提案される構成の一部のみを記載しています。シスコがサポートする使用可能な構成は他にも数多くあります。シスコ製 DIMM については、本書に記載のいくつかの基本的なルールに準拠する限り、どのような組み合わせでの装着もサポートされます。

表 39 Intel Xeon E5-2600 v3 CPU に推奨されているメモリ構成 (2133-MHz DIMM を使用) ¹

合計システムメモリサイズ	CPU 1 DIMM			CPU 2 DIMM			DIMM 最高速度 (MHz)	合計 DIMM 数
	青色スロットの スロット 1 (A1、B1、C1、D1)	黒色スロットの スロット 2 (A2、B2、C2、D2)	白色スロットの スロット 3 (A3、B3、C3、D3)	青色スロットの スロット 1 (E1、F1、G1、H1)	黒色スロットの スロット 2 (E2、F2、G2、H2)	白色スロットの スロット 3 (E3、F3、G3、H3)		
64 GB	8 GB X 4	–	–	8 GB X 4	–	–	2133	8
128 GB	8 GB X 4	8 GB X 4	–	8 GB X 4	8 GB X 4	–	2133	16
	16 GB X 4	–	–	16 GB X 4	–	–	2133	8
192 GB	8 GB X 4	8 GB X 4	8 GB X 4	8 GB X 4	8 GB X 4	8 GB X 4	1600	24
	16 GB X 4	8 GB X 4	–	16 GB X 4	8 GB X 4	–	2133	16
256 GB	16 GB X 4	16 GB X 4	–	16 GB X 4	16 GB X 4	–	2133	16
	32 GB X 4	–	–	32 GB X 4	–	–	2133	8
384 GB	16 GB X 4	16 GB X 4	16 GB X 4	16 GB X 4	16 GB X 4	16 GB X 4	1866	24
512 GB	32 GB X 4	32 GB X 4	–	32 GB X 4	32 GB X 4	–	2133	16
	64 GB X 4	–	–	64 GB X 4	–	–	2133	8
768 GB	32 GB X 4	32 GB X 4	32 GB X 4	32 GB X 4	32 GB X 4	32 GB X 4	1866	24
1024 GB	64 GB X 4	64 GB X 4	–	64 GB X 4	64 GB X 4	–	2133	16
1536 GB	64 GB X 4	64 GB X 4	64 GB X 4	64 GB X 4	64 GB X 4	64 GB X 4	1600	24

注記のシンプルなもの

1. 黄色でマークされた行は最高のパフォーマンスを示します。

表 40 Intel Xeon E5-2600 v4 CPU の推奨メモリ構成 (2400-MHz DIMM を使用) ¹

合計システムメモリサイズ	CPU 1 DIMM			CPU 2 DIMM			DIMM 最高速度 (MHz)	合計 DIMM 数
	青色 スロットの スロット 1 (A1、B1、 C1、D1)	黒色 スロットの スロット 2 (A2、B2、 C2、D2)	白色 スロットの スロット 3 (A3、B3、 C3、D3)	青色 スロットの スロット 1 (E1、F1、 G1、H1)	黒色 スロットの スロット 2 (E2、F2、 G2、H2)	白色 スロットの スロット 3 (E3、F3、 G3、H3)		
64 GB	8 GB X 4	—	—	8 GB X 4	—	—	2,400	8
128 GB	8 GB X 4	8 GB X 4	—	8 GB X 4	8 GB X 4	—	2,400	16
	16 GB X 4	—	—	16 GB X 4	—	—	2,400	8
192 GB	8 GB X 4	8 GB X 4	8 GB X 4	8 GB X 4	8 GB X 4	8 GB X 4	2133	24
	16 GB X 4	8 GB X 4	—	16 GB X 4	8 GB X 4	—	2133	16
256 GB	16 GB X 4	16 GB X 4	—	16 GB X 4	16 GB X 4	—	2,400	16
	32 GB X 4	—	—	32 GB X 4	—	—	2,400	8
320 GB	32 GB X 4	8 GB X 4	—	32 GB X 4	8 GB X 4	—	2133	16
384 GB	16 GB X 4	16 GB X 4	16 GB X 4	16 GB X 4	16 GB X 4	16 GB X 4	2133	24
	32 GB X 4	4 X 16GB	—	32 GB X 4	4 X 16GB	—	2133	16
512 GB	32 GB X 4	32 GB X 4	—	32 GB X 4	32 GB X 4	—	2,400	16
	64 GB X 4	—	—	64 GB X 4	—	—	2,400	8
768 GB	32 GB X 4	32 GB X 4	32 GB X 4	32 GB X 4	32 GB X 4	32 GB X 4	1866	24
1024 GB	64 GB X 4	64 GB X 4	—	64 GB X 4	64 GB X 4	—	2,400	16
1536 GB	64 GB X 4	64 GB X 4	64 GB X 4	64 GB X 4	64 GB X 4	64 GB X 4	2133	24

注記のシンプルなもの

1. 黄色でマークされた行は最高のパフォーマンスを示します。

その他の DIMM 装着

表 41 のリストは、サポートされているすべての DIMM 装着の完全なリストではなく、一般的な構成オプションに焦点が当てられています。

表 41 サポートされている DIMM 構成

CPU 1 DIMM	CPU 1 用の DIMM の 総数	CPU 1 の 容量	CPU 2 DIMM	CPU 2 用の DIMM の 総数	CPU 2 の 容量	2 つの CPU の合計容量
8 GB X 1	1	8 GB	8 GB X 1	1	8 GB	16 GB
8 GB X 2	2	16 GB	8 GB X 2	2	16 GB	32 GB
16 GB X 1	1	16 GB	16 GB X 1	1	16 GB	32 GB
8 GB X 4	4	32 GB	8 GB X 4	4	32 GB	64 GB
16 GB X 2	2	32 GB	16 GB X 2	2	32 GB	64 GB
32 GB X 1	1	32 GB	32 GB X 1	1	32 GB	64 GB
8 GB X 8	8	64 GB	8 GB X 8	8	64 GB	128 GB
16 GB X 4	4	64 GB	16 GB X 4	4	64 GB	128 GB
32 GB X 2	2	64 GB	32 GB X 2	2	64 GB	128 GB
8 GB X 12	12	96 GB	8 GB X 12	12	96 GB	192 GB
16 GB X 8	8	128 GB	16 GB X 8	8	128 GB	256 GB
32 GB X 4	4	128 GB	32 GB X 4	4	128 GB	256 GB
16 GB X 12	12	192 GB	16 GB X 12	12	192 GB	384 GB
32 GB X 8	8	256 GB	32 GB X 8	8	256 GB	512 GB
32 GB X 12	12	384 GB	32 GB X 12	12	384 GB	768 GB
64 GB X 12	12	768 GB	64 GB X 12	12	768 GB	1536 GB

RAID の詳細

このセクションでは、使用可能な RAID 構成を示します。



注 : Cisco 12G モジュラ RAID コントローラまたは Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA を選択できますが、両方同時に選択することはできません。

Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ (RAID サポート)

- 次のいずれかを選択します。
 - Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ ([表 10 \(26 ページ\)](#))、または
 - Cisco 9300-8E 12G SAS HBA ([表 10 \(26 ページ\)](#))、または
 - 1 つの Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ、および 1 つまたは 2 つの Cisco 9300-8E 12G SAS HBA ([表 10 \(26 ページ\)](#))

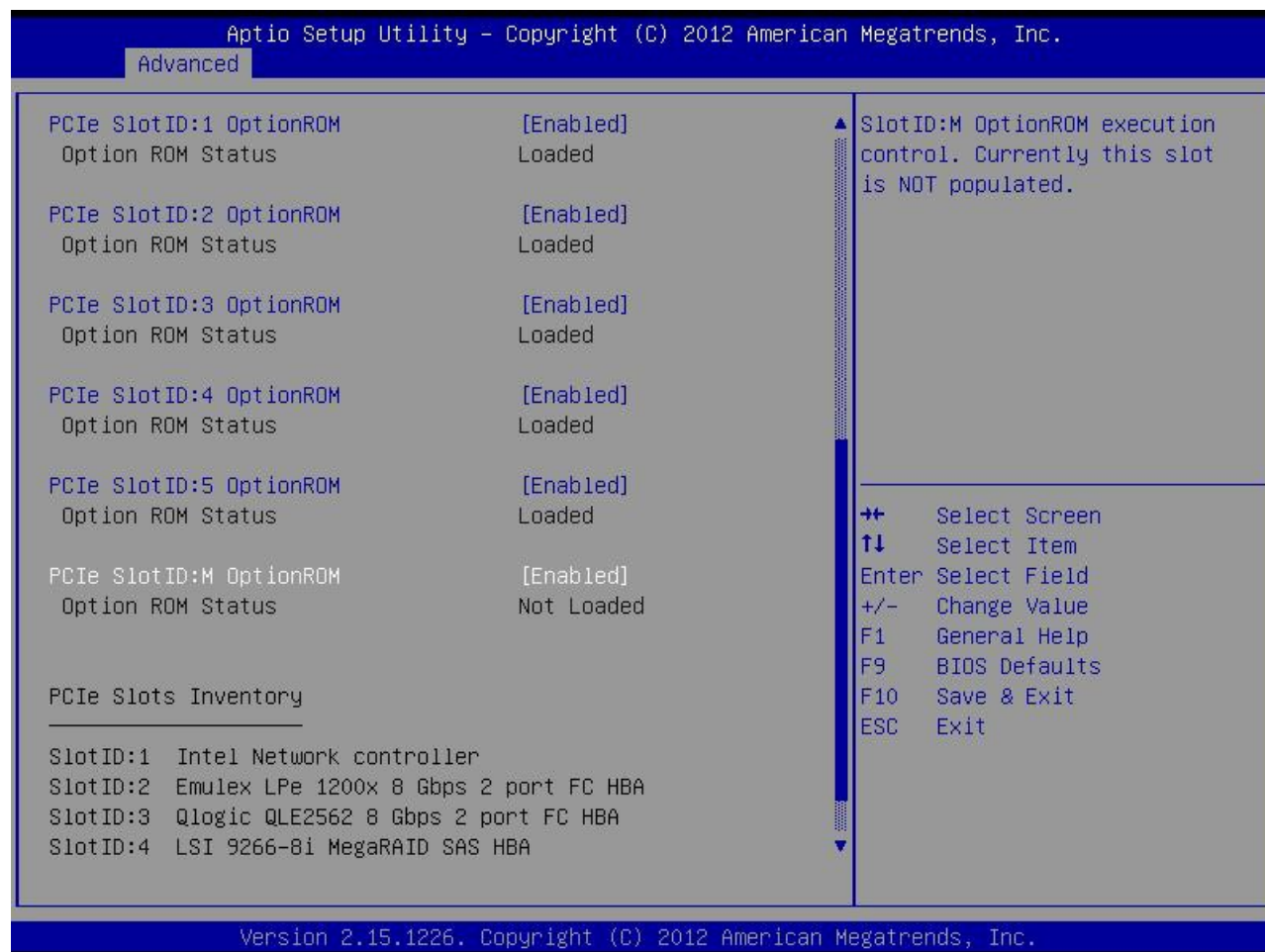
Cisco 12 Gbps SAS HBA (JBOD のみサポート)

- 次のいずれかを選択します。
 - Cisco 12 Gbps モジュラ SAS HBA ([表 10 \(26 ページ\)](#))、および/または
 - 1 つまたは 2 つの Cisco 9300-8E 12G SAS HBA ([表 10 \(26 ページ\)](#))

RAID オプション ROM (OPROM) 設定

サーバには、PCIe スロット用のオプション ROM (OPROM) が搭載されています。サーバでデバイスのブートに使用できるオプション ROM は限定されています。BIOS の設定画面でブートに使用しない PCIe スロットの OPROM を無効にして、ブート用のスロットでリソースが使用されるようにします。OPROM BIOS 画面の例を図 10 に示します。

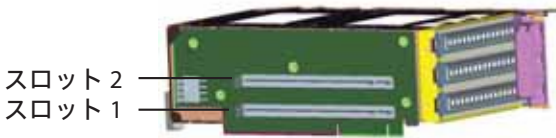
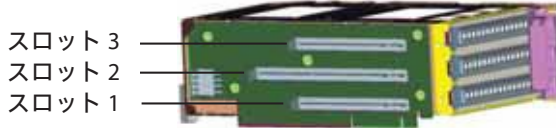
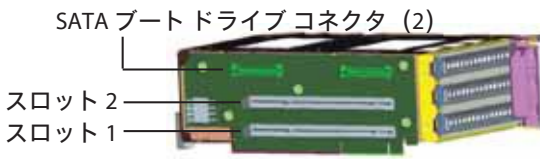
図 10 BIOS の OPROM 設定画面の例



ライザカードの設定とオプション

ライザカード 1 の 3 つのオプションを [表 42](#) に示します。SATA ブート ドライブ用の PCIe カード スロットとコネクタの数は、ライザ 1 用に選択したオプションによって異なります。ライザカード 2 のスロット割り当ては、[表 43 \(77 ページ\)](#) に示すように固定されています。


表 42 ライザカード 1 スロットのオプション

スロット番号	高さ	長さ	電気	機械	NCSI	物理
ライザカード 1 (オプション A、PID UCSC-PCI-1A-240M4)						
						
3						利用可能なスロットなし
2	フル	フル ¹	x16	x24	対応 ²	
1	フル	3/4	x8	x24	対応 ²	
ライザカード 1 (オプション B、PID UCSC-PCI-1B-240M4)³						
						
3	フル	フル	x8	x16	未対応	
2	フル	フル	x8	x24	対応	
1	フル	3/4	x8	x16	未対応	
ライザカード 1 (オプション C、PID UCSC-PCI-1C-240M4)						
						
3						利用可能なスロットなし ⁴
2	フル	フル	x16	x24	対応	
1	フル	3/4	x8	x24	対応	

注記のシンプルな

- GPU 対応スロット
- NCSI を使用できるのはいずれか 1 つのスロットのみです (デフォルトはスロット 2)。GPU カードをスロット 2 に装着した場合、NCSI は自動的にスロット 1 でサポートされます。
- このライザでは GPU はサポートされません。このバージョンには GPU 電源コネクタがありません。GPU カードを使用するには、ライザバージョン 1A をご使用ください。
- スロット 3 には PCIe コネクタはありませんが、SATA ブート ドライブ接続用のコネクタが 2 つあります。

表 43 ライザ カード 2 スロット

スロット番号	高さ	長さ	電気	機械	NCSI	物理
ライザ カード 2						
						
6	フル	フル	x8	x16	未対応	
5	フル	フル ¹	x16	x24	対応 ²	
4	フル	3/4	x8	x24	対応 ²	

注記のシンプルな

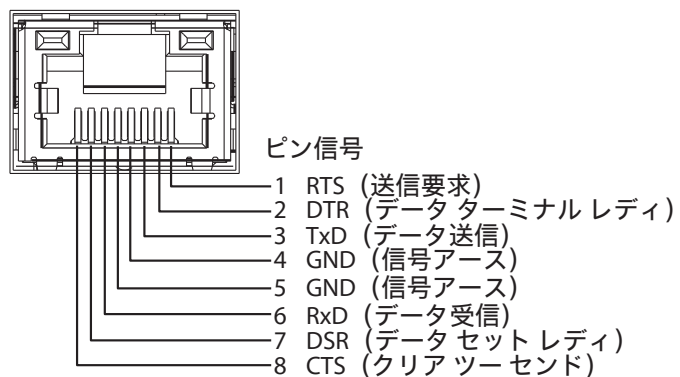
1. GPU 対応スロット
2. NCSI を使用できるのはいずれか 1 つのスロットのみです (デフォルトはスロット 5)。GPU カードをスロット 5 に装着した場合、NCSI は自動的にスロット 4 でサポートされます。

シリアルポートの詳細

RJ-45 シリアルポート コネクタのピン割り当ての詳細（背面）を [図 11](#) に示します。

図 11 シリアルポート（RJ-45 のメス コネクタ）のピン割り当て

シリアルポート（RJ-45 のメス コネクタ）



アップグレード関連と保守関連部品

ここでは、サーバの販売提供中に利用可能なアップグレード関連部品と保守関連部品の一覧を示します。これらの部品の中にはすべてのサーバに内蔵されているものがあり、それ以外に必要なに応じて選択できるものや、将来使用する予備として選択し、手元に置いておくことができるものがあります。表 44 を参照してください。

表 44 UCS C240 M4 LFF サーバ用のアップグレード関連部品と修理関連部品

予備製品 ID (PID)	説明
UCSC-PCIF-C240M4=	C240 M4 PCIe ライザ ブランク パネル 1
UCSC-PCI-2-C240M4=	C240 M4 PCIe ライザ 2 アセンブリ 1
UCSC-PCI-1A-240M4=	C240 M4 PCIe ライザ 1 アセンブリ (x8 スロット + GPU) 1
UCSC-PCI-1B-240M4=	C240 M4 PCIe ライザ 1 アセンブリ (3 x8 スロット) 1
UCSC-PCI-1C-240M4=	C240 M4 PCIe ライザ 1 アセンブリ (SATA ブート + 2 PCIe スロット) 1
UCSC-IP-PCH-240M4=	インターポーザ ボード + オンボード PCH SATA 6G 組み込みソフトウェア RAID 用ケーブル 1
UCSC-MLOM-BLK=	MLOM ブランク パネル
UCSC-BBLKD-L	3.5 インチ HDD ブランク パネル
UCS-240CBLMR12=	12 HDD バックプレーン シャーシ用ケーブル X 2 の C240 M4 セット ¹
UCSC-HS-C240M4=	UCS C240 M4 ラック サーバ用ヒート シンク 1
UCS-CPU-CVR-EP-M4=	CPU ロード プレート ダスト カバー (無装着の CPU ソケット用)
UCS-GPUCBL-240M4=	C240 M4 GPU 電源ケーブル (1 GPU カードあたり 1 ケーブル) 1
N20-MBLIBATT=	サーバ マザーボード用の交換リチウム バッテリ (CR2032) 1
UCSC-FAN-C240M4=	C240 M4 ファン モジュール (1 個)
UCSC-BAFF-C240M4=	C220 M4 エアー バッフル交換キット
UCSC-PSU-BLKP240=	C220 M4 サーバ用電源ブランク パネル 1
UCSC-RAILB-M4=	C220 M4 および C220 M4 ラック サーバ用工具不要ボール ベアリング レール キット
UCS-SD-32G-S=	UCS サーバ用 32 GB SD カード ²
UCS-SD-64G-S=	UCS サーバ用 64 GB SD カード 2
UCS-USBFLSHB-16GB=	16 GB フラッシュ USB ドライブ
N20-BKVM=	UCS サーバ コンソール ポート用の KVM ローカル IO ケーブル
UCS-CPU-GREASE3=	M4 サーバ CPU サーマル グリース シリンジ - ヒートシンク保護用として必要 ³
UCSX-HSCK=	UCS プロセッサ ヒート シンク クリーニング キット (CPU の交換時) ³
UCSC-MRAID-SC=	Cisco 12G SAS モジュラ RAID 用 SuperCap (すべてのケーブルを含む)。

表 44 UCS C240 M4 LFF サーバ用のアップグレード関連部品と修理関連部品

予備製品 ID (PID)	説明
UCS-300WKIT-240M4=	UCS C240 M4 ラック サーバ用 300 ワット ケーブル、HS およびキット (2 つのヒート シンクと 2 つの電源ケーブルを含む)

注記のシンプルな

1. RAID コントローラを、予備としてまたは損傷したケーブルの交換用として選択する場合に必要です。
2. この SD カードはブランクです。
3. この部品は、オプションのまたは予備の Intel Xeon E5-2600 v3 CPU プロセッサ キットと合わせて選択する必要があります。

新しい CPU (CPU ヒート シンク付き) の追加または CPU の交換

すべての Cisco UCS 2 CPU ソケット対応サーバで、1 CPU 構成から 2 CPU 構成にアップグレードしたり、CPU を交換したりできます。新しい CPU をサーバに追加する場合は、ヒート シンクを選択して取り付ける必要があります。新しい CPU の取り付け手順または CPU とヒート シンクの交換手順については、次のリンクを参照してください。

http://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C240M4/install/C240M4.html

「Replacing CPUs and Heatsinks」セクションを参照してください。



注：前の世代のサーバと異なり、C240 M4 の CPU ソケットは工具不要であり、CPU の追加または交換時に工具（「ピック アンド プレース」ツールなど）は不要です。

マザーボード リチウム バッテリ

交換用のマザーボード バッテリを選択できます。取り付け手順については、次のリンクを参照してください。

http://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C240M4/install/C240M4.html

「Replacing the Motherboard RTC Battery」セクションを参照してください。

ヒート シンクを保護する CPU 用のサーマル グリース (シリンジ アプリケータ付き)

サーマル グリースは、ヒート シンクに接触している CPU の上部に適用する必要があります（すべての CPU スペア オプション キットにもグリース シリンジが付属しています）。サーマル グリースの適用手順については、以下を参照してください。

http://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C240M4/install/C240M4.html

「Replacing CPUs and Heatsinks (CPU およびヒートシンクの交換)」セクションを参照してください。



注意：このサーバ用として指定されたサーマル グリース (UCS-CPU-GREASE3=) のみ使用してください。サーマル グリースは先端が白いシリンジに入っており、C220 M4 および C240 M4 サーバでのみ使用できます。その他のサーバで使用できるサーマル グリースは、先端が青いシリンジ (UCS-CPU-GREASE=) に入っています。

他のシステム用のサーマル グリースは伝導率が異なる場合があります、C220 M4 または C240 M4 サーバで使用すると過熱の原因になることがあります。

一般販売店で購入可能なサーマル グリースは使用しないでください。これらの手順に従わなかった場合は、CPU が過熱して破損する可能性があります。



注：予備の CPU を構成すると、シリンジ アプリケータ付きのサーマル グリースが同梱されています。

エアー バッフル交換キット

エアー バッフルは、サーバを通過するエアーフローを管理することによって、安全な動作レベルで温度を維持するように設計されています。動作中は常にこのバッフルを取り付けておく必要があります。エアー バッフル交換キットには、1 台の UCS C220 M4 サーバに必要なエアー バッフルが含まれています。

CPU ヒート シンク クリーニング キット

このクリーニング キットは、CPU 交換プロセス中に既存のヒート シンクに付着しているサーマル コンパウンドを取り除くために使用します。クリーニング手順については、次のリンクを参照してください。

http://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/C240M4/install/C240M4.html

「Replacing CPUs and Heatsinks (CPU とヒートシンクの交換)」セクションを参照してください。



注：予備の CPU を購入すると、CPU クリーニング キットが同梱されています。

KVM ケーブル

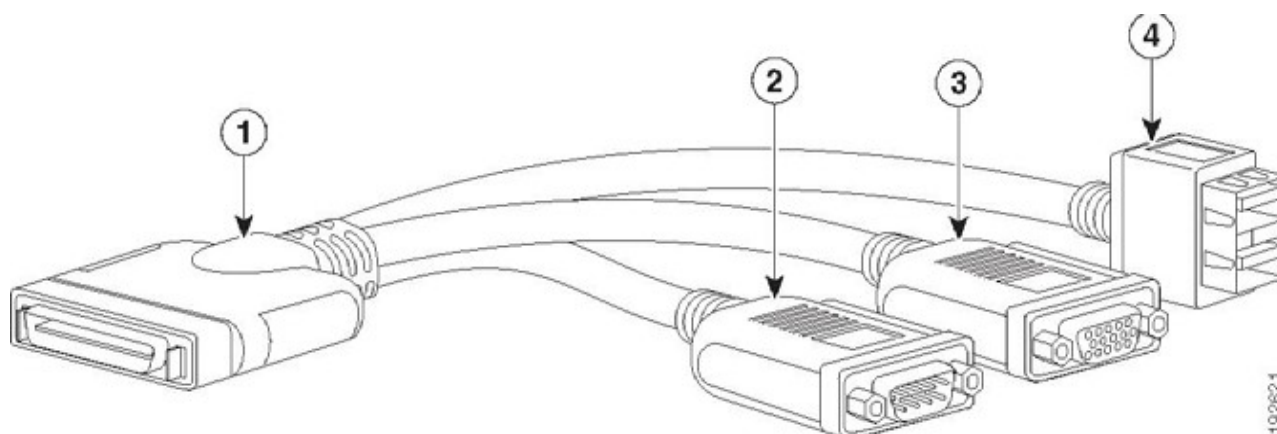
KVM ケーブルはサーバへの接続用のケーブルで、DB9 シリアル コネクタ、モニタ用の VGA コネクタ、キーボードおよびマウス用のデュアル USB 2.0 ポートが付いています。このケーブルを使用すると、サーバで稼動するオペレーティング システムや BIOS に直接接続できます。

表 45 に、KVM ケーブルの注文情報を示します。

表 45 KVM ケーブル

製品 ID (PID)	PID の説明
N20-BKVM=	サーバ コンソール ポート用の KVM ケーブル

図 12 KVM ケーブル

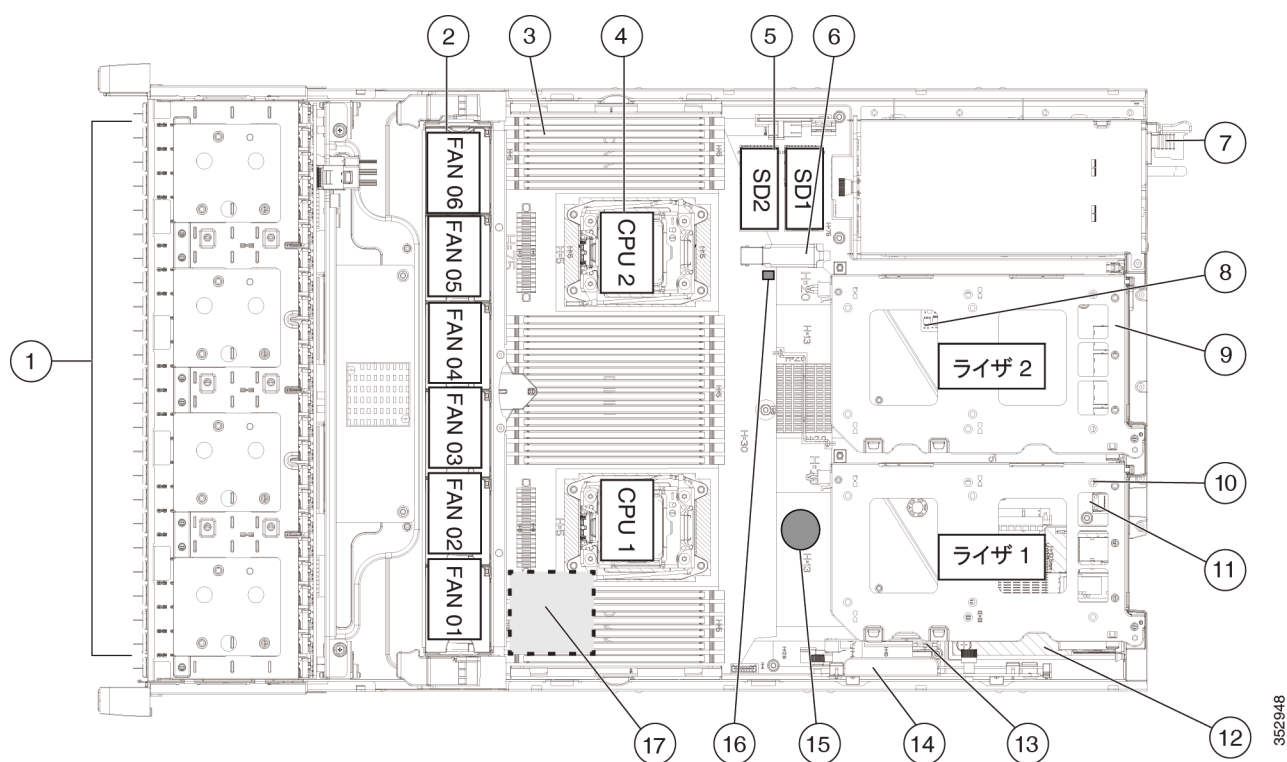


1	コネクタ (サーバ前面パネルに接続)	3	VGA コネクタ (モニタ用)
2	DB-9 シリアル コネクタ	4	2 ポート USB 2.0 コネクタ (マウスおよびキーボード用)

マザーボードの USB ポートと SD ポート、および RAID カード バックアップの場所

図 13 に示すように、C240 M4 LFF マザーボードには、汎用 USB ソケットと 2 つの SD ソケットがあります。RAID カードのバックアップの取り付け位置も示されています。

図 13 マザーボードの USB ポートと SD ポート、および RAID カード バックアップの場所



352948

5	SD1 コネクタ (ライザ 2 ボード上)	6	USB 3.0 コネクタ (マザーボード上)
5	SD2 コネクタ (ライザ 2 ボード上)	16	SuperCap RAID データ キャッシュ電源バックアップユニットの取り付け場所 (2 箇所、この図に示されていないエア バッフル上)

販売終了 (EOS) コンポーネント

表 46 に、販売はすでに停止されているサポート対象の PID を示します。サポート対象の PID を持つプラットフォームは、Cisco Technical Assistance Center (TAC) で有効な構成として認識されます。

表 46 EOS コンポーネント

PID	説明
ドライブ	
UCS-SD960G0KSB-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)
UCS-SD480G0KSB-EV	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)
UCS-SD120G0KSB-EV	120 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)

技術仕様

寸法と重量

表 47 UCS C240 M4 の寸法と重量

パラメータ	値
高さ	8.70 cm (3.43 インチ)
幅 (スラム ラッチを含む)	44.8 cm (17.65 インチ) ハンドルを含めた場合： 48.2 cm (18.96 インチ)
奥行	73.8 cm (29.0 インチ) ハンドルを含めた場合： 76.6 cm (30.18 インチ)
機材設置で、前面に必要な最小隙間	76 mm (3 インチ)
機材設置で、横に必要な最小隙間	25 mm (1 インチ)
機材設置で、背面に必要な最小隙間	152 mm (6 インチ)
重量 ¹	
最大 (HDD X 12、CPU X 2、DIMM X 24、電源装置 X 2)	30.6 kg (67.5 ポンド)
最小 (HDD X 1、CPU X 1、DIMM X 1、電源装置 X 1)	17.8 kg (39.2 ポンド)
本体のみ (HDD X 0、CPU X 0、DIMM X 0、電源装置 X 1)	16.3 kg (35.9 ポンド)

注記のシンプルな

1. ラックに取り付けられた外部レールは含まれていません。

電源仕様

サーバには、以下の電源ユニットを使用できます。

- 650 W (AC)
- 930 W (DC)
- 1200 W (AC)
- 1400 W (AC)

C240 M4 LFF サーバの一般的な電力仕様を次に示します。

- 650 W (AC) 電源ユニット (表 48 を参照)
- 930 W (DC) 電源ユニット (表 49 を参照)
- 930 W V2 (DC) 電源ユニット (表 50 を参照)
- 1200 W V2 (AC) 電源ユニット (表 51 (88 ページ) を参照)
- 1400 W V2 (AC) 電源ユニット (表 52 (89 ページ) を参照)

表 48 UCS C240 M4 LFF 電力仕様 (650 W AC 電源ユニット)

説明	仕様
AC 入力電圧範囲	電圧範囲 100 ~ 127 VAC、200 ~ 240 VAC (公称) (範囲: 90 ~ 140 VAC、180 ~ 264 VAC)
AC 入力周波数	公称 50 ~ 60 Hz (範囲: 47 ~ 63 Hz)
最大 AC 入力電流	100 VAC で最大 7.6 Amps 208 VAC で最大 3.65 Amps
最大入力 VA	760 VA @ 100 VAC
各電源ユニットの最大出力	650 W
最大 AC 突入電流	35 A (サブサイクル時間)
最大ホールド アップ時間	12 ms @ 650 W
電源の出力電圧	12 VDC
電源スタンバイ電圧	12 VDC
電源効率	Climate Savers Platinum Efficiency (80Plus Platinum 認定)
フォーム ファクタ	RSP1
入力コネクタ	IEC320 C14

表 49 UCS C240 M4 LFF 電力仕様 (930 W DC 電源ユニット)

説明	仕様
AC 入力電圧	電圧範囲：公称 -48 ~ -60 VDC (範囲：-40 ~ -60 VDC)
最大 DC 入力電流	-48 VDC で 23 A
最大入力電流	-48 VDC で 1104 W
電源あたりの最大出力	930 W
最大突入電流	35 A (サブサイクル時間)
最大ホールドアップ時間	930 W で 4 ms
電源ユニットの出力電圧	12 VDC
電源ユニットのスタンバイ電圧	12 VDC
効率評価	50 % の負荷で 92 % 以上
フォーム ファクタ	RSP1
入力コネクタ	3 ポジション欧州規格端子ブロック スプリング ケージ接続コネクタ。プラグ PID UCSC-CONN-930WDC=

表 50 UCS C240 M4 LFF 電力仕様 (930 W DC V2 電源ユニット)

説明	仕様
AC 入力電圧	電圧範囲：公称 -48 ~ -60 VDC (範囲：-40 ~ -60 VDC)
最大 DC 入力電流	-48 VDC で 23 A
最大入力電力	-48 VDC で 1104 W
電源あたりの最大出力	930 W
最大突入電流	35 A (サブサイクル時間)
最大ホールドアップ時間	930 W で 4 ms
電源ユニットの出力電圧	12 VDC
電源ユニットのスタンバイ電圧	12 VDC

表 50 UCS C240 M4 LFF 電力仕様 (930 W DC V2 電源ユニット) (続き)

説明	仕様
効率評価	50 % の負荷で 92 % 以上
フォーム ファクタ	RSP1
入力コネクタ	3 ワイヤ コネクタ (Molex MINIFIT SR. R/A)

表 51 UCS C240 M4 LFF 電力仕様 (1200 W V2 AC 電源ユニット)

説明	仕様
AC 入力電圧	電圧範囲 100 ~ 127 VAC、200 ~ 240 VAC (公称) (範囲 : 90 ~ 140 VAC、180 ~ 264 VAC)
AC 入力周波数	50 ~ 60 Hz (公称) (範囲 : 47 ~ 63 Hz)
最大 AC 入力電流	100 VAC で 11 A、 200 VAC で 7 A
最大入力 VA	230 VAC で 1400 VA
電源あたりの最大出力	800 W @ 100 ~ 120 VAC 1200 W @ 200 ~ 240 VAC 36 W (12 V DC スタンバイ)
最大突入電流	30 A (サブサイクル時間)
最大ホールドアップ時間	1200 W で 12 ms
電源ユニットの出力電圧	12 VDC
電源ユニットのスタンバイ電圧	12 VDC
効率評価	Climate Savers Platinum Efficiency (80Plus Platinum 認定)
フォーム ファクタ	RSP1 (C シリーズ 2U および 4U サーバ)
入力コネクタ	IEC320 C14

表 52 UCS C240 M4 LFF 電力仕様 (1400 W V2 AC 電源ユニット)

説明	仕様
AC 入力電圧	電圧範囲 : 200 ~ 240 VAC (公称) (範囲 : 180 ~ 264 VAC)
AC 入力周波数	50 ~ 60 Hz (公称) (範囲 : 47 ~ 63 Hz)
最大 AC 入力電流	8.5 A @ 200 V AC
最大入力 VA	1630 VA @ 230 VAC
電源あたりの最大出力	1400 W @ 200 ~ 240 VAC 36 W (12 V DC スタンバイ)
最大突入電流	30 A (サブサイクル期間)
最大ホールド アップ時間	12 ms @ 1400 W
電源の出力電圧	12 VDC
電源スタンバイ電圧	12 VDC
効率評価	Climate Savers Platinum Efficiency (80Plus Platinum 認定)
フォーム ファクタ	RSP1 (C シリーズ 2U および 4U サーバ)
入力コネクタ	IEC320 C14

具体的な構成の電力を計算するには、次の URL にある Cisco UCS Power Calculator を使用してください。

<http://ucspowercalc.cisco.com> [英語]

環境仕様

表 53 に、C240 M4 サーバの電力仕様を示します。

表 53 UCS C240 M4 LFF の環境仕様

パラメータ	最小
温度 (動作時)	5 ~ 35 °C (41 ~ 95 °F) 海拔 305 m (1000 フィート) ごとに最高温度が 1 °C 低下
温度 (非動作時)	-40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)
湿度 (RH) (動作時)	10 ~ 90 % (28 °C (82 °F) 時、結露なし)
湿度 (RH) (非動作時)	5 ~ 93 % (28 °C (82 °F) 時)
高度 (動作時)	0 ~ 3,000 m (0 ~ 10,000 フィート)
高度 (非動作時)	0 ~ 12,192 m (0 ~ 40,000 フィート)
音響出力レベル A : ISO7779 LWAd に基づく測定値 (B) 23 °C (73 °F) での動作時	5.8
音圧レベル ISO7779 に基づく A 特性 音圧レベル LpAm (dBA) を測定 23 °C (73 °F) での動作時	43

準拠要件

表 54 に、C シリーズ サーバの規制準拠要件を示します。

表 54 UCS C シリーズの規制準拠要件

パラメータ	説明
適合認定	本製品は、指令 2004/108/EC および 2006/95/EC による CE マーキングに準拠しています。
安全規格	UL 60950-1 第 2 版 CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 第 2 版 EN 60950-1 第 2 版 IEC 60950-1 第 2 版 AS/NZS 60950-1 GB4943 2001
EMC : エミッション	47CFR Part 15 (CFR 47) クラス A AS/NZS CISPR22 クラス A CISPR22 Class A EN55022 クラス A ICES003 クラス A VCCI クラス A EN61000-3-2 EN61000-3-3 KN22 クラス A CNS13438 クラス A
EMC : イミュニティ	EN55024 CISPR24 EN300386 KN24

販売終了 (EOS, EOL) のコンポーネント

以下は、以前はこの製品で使用可能でしたが、すでに販売停止している部品、コンポーネントの一覧で (US 資料作成時点) は、表 55 の EOL 掲示リンクを参照してください。

なお、最新の販売終了情報は、以下の EOL 掲載ページを参照ください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-listing.html>

表 55 EOS, EOL コンポーネント

EOS オプション PID	説明	EOL 掲示リンク
メモリ		
UCS-ML-1X324RU-A	32 GB DDR4-2133-MHz LRDIMM/PC4-17000/クアッド ランク/ x4/1.2 V	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-b-series-blade-servers/eos-eol-notice-c51-739140.html
UCS-ML-1X324RV-A	32 GB DDR4-2400-MHz LRDIMM/PC4-19200/クアッド ランク/ x4/1.2 V	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-ML-1X644RV-A	64 GB DDR4-2400-MHz LRDIMM/PC4-19200/クアッド ランク/ x4/1.2 V	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-MR-1X081RU-A	8 GB DDR4-2133-MHz RDIMM/PC4-17000/シングル ランク/ x4/1.2 V	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-b-series-blade-servers/eos-eol-notice-c51-739140.html
UCS-MR-1X081RV-A	8 GB DDR4-2133-MHz RDIMM/PC4-17000/シングル ランク/ x4/1.2 V	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-b-series-blade-servers/eos-eol-notice-c51-739140.html
UCS-MR-1X081RV-A	8 GB DDR4-2400-MHz RDIMM/PC4-19200/シングル ランク/ x4/1.2 V	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-MR-1X161RV-A	16 GB DDR4-2400-MHz RDIMM/PC4-19200/シングル ランク/ x4/1.2 V	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-MR-1X162RU-A	16 GB DDR4-2133-MHz RDIMM/PC4-17000/デュアル ランク/ x4/1.2 V	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-b-series-blade-servers/eos-eol-notice-c51-739140.html
UCS-MR-1X162RV-A	16 GB DDR4-2133-MHz RDIMM/PC4-17000/デュアル ランク/ x4/1.2 V	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-b-series-blade-servers/eos-eol-notice-c51-739140.html
UCS-MR-1X162RV-A	16 GB DDR4-2400-MHz RDIMM/PC4-19200/デュアル ランク/ x4/1.2 V	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-MR-1X322RU-A	32 GB DDR4-2133-MHz RDIMM/PC4-17000/デュアル ランク/ x4/1.2 V	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-b-series-blade-servers/eos-eol-notice-c51-739140.html
UCS-MR-1X322RVA-S	32 GB DDR4-2400-MHz RDIMM/PC4-19200/デュアル ランク/ x4/1.2 V Samsung	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-MR-1X648RU-A	64 GB DDR4-2133-MHz TSV-RDIMM/PC4-17000/オクタル ランク/x4/1.2v	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html

ドライブ

表 55 EOL 製品

EOS オプション PID	説明	EOL 掲示リンク
HDD		
UCS-HD10T7KEM	10 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (512e)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD10T7KL4K	10 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (4K)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD10T7KL6GA	10 TB 6G SATA 7.2K RPM LFF HDD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD12T7KL4KHM	12 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (4K)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD12T7KL6GHA	12 TB 6G SATA 7.2K RPM LFF HDD (512e)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD12TB10KHY-E	1.2 TB 3.5 インチ 12G SAS 10K RPM ドライブ	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD1T7KL12G	1 TB 12 G SAS 7.2K RPM LFF HDD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD2T7KA3-E	^2 TB SATA 7.2K RPM 3.5 インチ HDD	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-738726.html
UCS-HD2T7KL12G	2 TB 12 G SAS 7.2K RPM LFF HDD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD2T7KL6GA	2 TB 6G SATA 7.2K RPM LFF HDD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD300G15KHY-E	300 GB 3.5 インチ Hybrid 6G SAS 15K RPM HDD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD4T12GK9	4 TB 7.2K RPM LFF HDD (SED)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD4T7KL12G	4 TB 12 G SAS 7.2K RPM LFF HDD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD4T7KS3-E	^4 TB SAS 7.2K RPM 3.5 インチ HDD/ホット プラグ/ドライブ スレッド マウント済み	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-737249.html
UCS-HD600G15CK9	600 GB 12G SAS 15K RPM LFF HDD (SED)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html

表 55 EOL 製品

EOS オプション PID	説明	EOL 掲示リンク
UCS-HD600G15KHY-E	600 GB 3.5 インチ Hybrid 6G SAS 15K RPM HDD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD6T12GAK9	6 TB 7.2K RPM LFF HDD (4K 形式、SED)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD6T12GK9	6 TB 7.2K RPM LFF HDD (512e)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-740779.html
UCS-HD6T7KEM	6 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (512e)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD6T7KL4K	6 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (4K)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD8T7KEM	8 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (512e)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD8T7KL4K	8 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (4K)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-739513.html
UCS-HD8T7KL4KHM	8 TB 12G SAS 7.2K RPM LFF HDD (4K)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HD8T7KL6GA	8 TB 6G SATA 7.2K RPM LFF HDD	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HDD1T12F212	^1 TB SAS 7.2K RPM 3.5 インチ HDD/ホットプラグ/ドライブスレッドマウント済み	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-737227.html
UCS-HDD2T12F213	^2 TB SAS 7.2K RPM 3.5 インチ HDD/ホットプラグ/ドライブスレッドマウント済み	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-737249.html
UCS-HDD3T12F214	^3 TB SAS 7.2K RPM 3.5 インチ HDD/ホットプラグ/ドライブスレッドマウント済み	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-737249.html
エンタープライズ向けの性能		
UCS-HY16TSAS3-EP	1.6TB 3.5 インチ Enterprise performance 12G SAS SSD (3X DWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HY19TIS3-EP	1.9 TB 3.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3 倍の耐久性)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HY400GSAS3-EP	400GB 3.5 インチ Enterprise performance 12G SAS SSD (3X DWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html

表 55 EOL 製品

EOS オプション PID	説明	EOL 掲示リンク
UCS-HY480GIS3-EP	480 GB 3.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3 倍の耐久性)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD120G0KHY-EV	120 GB 3.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (1FWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD16TG0KHY-EP	1.6 TB 3.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3 FWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-739513.html
UCS-SD16TG1KHY-EP	1.6 TB 3.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (10 DWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-HY800GSAS3-EP	800GB 3.5 インチ Enterprise performance 12G SAS SSD (3X DWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD400G1KHY-EP	400 GB 3.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (10 DWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD400GBCK9	400GB Enterprise performance SAS LFF SSD (10X DWPD、SED)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD400GBEAK9	HGST 400 GB Enterprise Performance LFF SSD (10 DWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-739513.html
UCS-SD480G0KHY-EP	480 GB 3.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3 FWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-739513.html
Enterprise Value		
UCS-SD120G0KS2-EV	120 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-736502.html
UCS-SD120G0KSB-EV	120 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-736502.html
UCS-SD120GBE1K9	120 GB Enterprise Value SATA SSD (1X DWPD)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD120GBKS4-EB	120 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD16TBKS4-EB	1.6 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD240G0KS2-EV	240 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-736502.html

表 55 EOL 製品

EOS オプション PID	説明	EOL 揭示リンク
UCS-SD400G0KHY-EP	400 GB 3.5 インチ Hybrid Enterprise Performance 12G SAS SSD	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-737349.html
UCS-SD480G0KS2-EV	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-736502.html
UCS-SD480G0KSB-EV	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-736502.html
UCS-SD480GBKS4-EB	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD800G0KHY-EP	800 GB 3.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD (LFF)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD800GBCK9	800 GB Enterprise Performance SAS LFF SSD (10X FWPD、SED)	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-741234.html
UCS-SD960G0KS2-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-736502.html
UCS-SD960G0KSB-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (ブート)	http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-736502.html
UCSC-F-H19001	UCS ラック PCIe/NVMe ストレージ 1900 GB HGST SN150 読み出し重視	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-739513.html
UCSC-F-H38001	UCS ラック PCIe/NVMe ストレージ 3800 GB HGST SN150 読み出し重視	https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/eos-eol-notice-c51-739513.html

©2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2019年7月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先